

令和2年度

国分寺市子ども若者・子育て
いきいき計画
(実施状況)

国分寺市子ども家庭部
子ども若者計画課

もくじ

①	計画の位置づけ，体系図，評価方法	1
1	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の位置づけ	2
2	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の体系図	3
3	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の評価方法	4
②	国分寺市子ども・子育て会議答申書	5
③-1	評価方法，評価の概要（計画第4章評価部分）	7
③-2	施策評価書（計画第4章評価部分）	15
	基本目標Ⅰ - 施策（1）	16
	- 施策（2）	26
	基本目標Ⅱ - 施策（1）	32
	- 施策（2）	38
	- 施策（3）	42
	- 施策（4）	56
	基本目標Ⅲ - 施策（1）	68
	- 施策（2）	82
	基本目標Ⅳ - 施策（1）	88
	- 施策（2）	96
	- 施策（3）	110
④-1	子ども・子育て支援事業計画評価書（計画第5章評価部分）	115
④-2	子ども・子育て支援事業計画実績値等（計画第5章評価部分）	119



計画の位置づけ，体系図，
評価方法

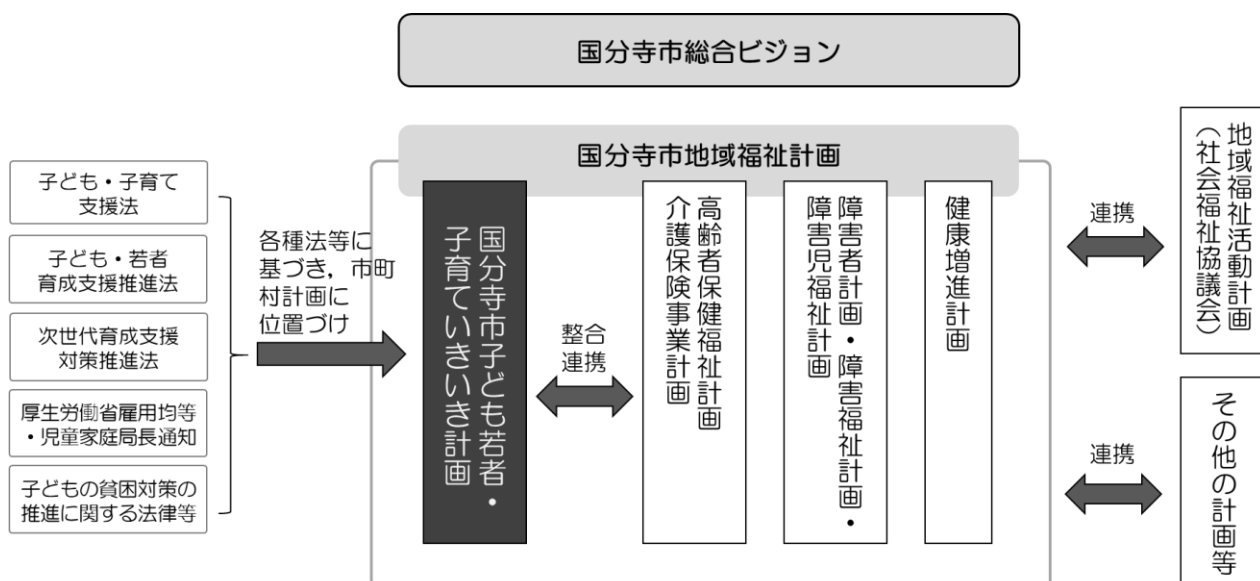
国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（以下「本計画」といいます。）は、「国分寺市地域福祉計画」の子ども分野に係る計画として位置づけられ、本市における今後の子ども・子育て・若者支援施策の具体的な方向や取組内容について定めるものです。

また、本計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」、子ども・若者育成支援推進法第9条第2項に基づく「市町村子ども・若者計画」を包含するとともに、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく「市町村行動計画」、平成26年6月17日付雇児第0617第1号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知に基づく「母子保健計画」として位置づけられるものです。

さらに、上記法律等に基づく計画の他に、子どもの貧困対策の推進に関する法律及び子どもの貧困対策に関する大綱を勘案した子どもの貧困対策に係る市の方針としての位置づけも含まれます。

なお、本市では、子ども・子育て・若者支援を推進する総合的な計画として、「国分寺市総合ビジョン」をはじめ、上記「国分寺市地域福祉計画」等の上位・関連計画と整合性・連携を図りながら、子ども・子育て支援施策や若者支援施策を進めていきます。

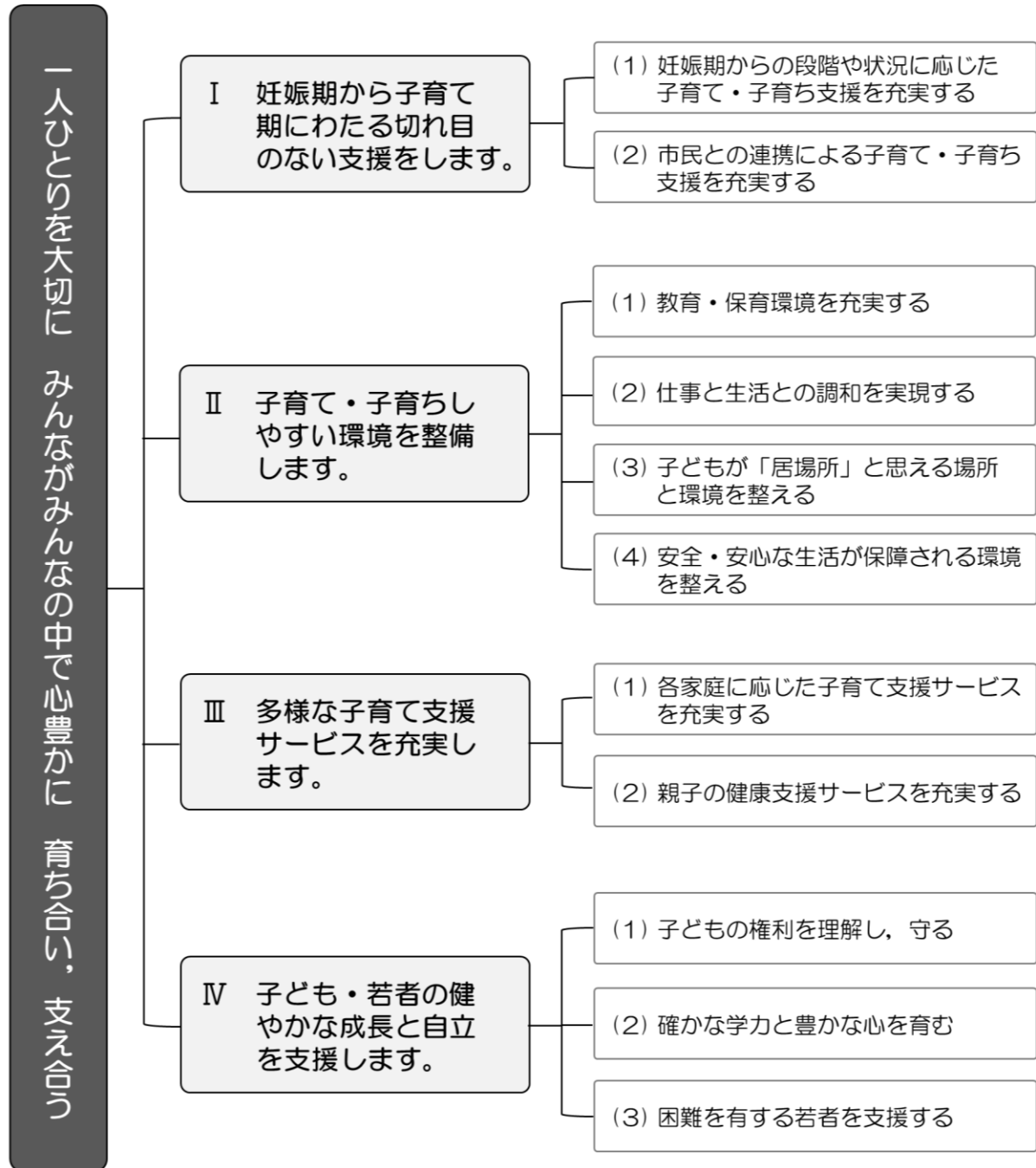
● 本計画の位置づけ（図解）



[基本理念]

[基本目標]

[施策]



● 第5章の本計画上のつながり

第5章では、主に子ども・子育て支援法第61条に基づく「子ども・子育て支援事業計画」として、同法に定められた事業等について、各年度の量の見込み及びその確保の方策等について記載（一部第4章にも記載しています。）しています。

(1) 市の評価の実施

本計画に掲げる事業について、当該事業の実施所管課が評価を行います。

なお、第4章に掲げている重点事業については、各施策の方向性に基づいて事業が実施されているかを確認し、その上で、各施策の進捗状況の評価を行います。

(2) 国分寺市子ども・子育て会議への諮問

計画の適切な進行管理を進めるため、本計画第6章に基づき、第4章における市の評価（各重点事業の実施状況も含みます。）及び第5章における実績値等（以下「本市評価」といいます。）を外部委員会へ提示し、意見を求めます。

本計画の評価においては、国分寺市子ども・子育て会議へ諮問し、意見をいただくこととされています。

(3) 国分寺市子ども・子育て会議の答申（評価）

国分寺市子ども・子育て会議は、本市評価に係る諮問を受け、答申（評価）を行います。

具体的には、同会議からの評価は、施策評価書（計画第4章評価部分）及び子ども・子育て支援事業計画評価書（計画第5章評価部分）の中の「国分寺市子ども・子育て会議の評価」部分に記載されます。

(4) 評価の確定

本計画の評価は、国分寺市子ども・子育て会議からの答申（評価）を経て確定します。

本計画に掲げる事業を実施している所管課は、自己評価及び同会議からの答申（評価）を踏まえた上で、各事業における取組の充実・見直しを行っていきます。



国分寺市子ども・子育て会議 答申書



答申第3号

令和3年12月1日

国分寺市長 井澤邦夫様

国分寺市子ども・子育て会議

会長 民秋言

答申書

令和3年10月7日付け諮問第2号により諮問のあった国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（令和2年3月策定）の実施状況について、国分寺市子ども・子育て会議設置条例（平成25年条例第55号）第3条の規定に基づき、下記のとおり答申する。

記

国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（令和2年3月策定）の実施状況について

国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（令和2年3月策定）における令和2年度の実施状況については、国分寺市の評価内容を確認し、別紙「施策評価書」及び「子ども・子育て支援事業計画評価書」中「国分寺市子ども・子育て会議の評価」に記載のとおり評価する。



評価方法，評価の概要 (計画第4章評価部分)

評価方法、評価の概要（計画第4章評価部分）

（1）重点事業の評価（3段階評価）／ 施策の方向性に係る実施状況

重点事業は、下表のとおり3段階で実施します。

また、所管課による重点事業の評価に併せて、施策の方向性に係る実施状況（施策の方向性に基づき各重点事業が実施されているかどうか）のヒアリングを実施し、確認します。

なお、施策評価書では、各施策に掲げる重点事業の実施状況を「個別事業の実施状況」としてまとめて記載します。

量的・質的実績評価基準		重点事業の評価基準	
a	令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。	A	令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
b	令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね [*] 達成した。	B	令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
c	令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。	C	令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。

※ 当該年度の目標値に対して80%以上の実績値であることを基準としています。

（2）施策の進捗評価（4段階評価）

重点事業の評価結果及び施策の方向性の実施状況から、施策の進捗状況の評価を下表のとおり4段階で実施します。

なお、施策の進捗状況の評価について特記すべきことがある場合は、その旨を加筆します。

施策の進捗評価基準
順調に進んでいる。
おおむね順調に進んでいる。
やや遅れが生じている。
遅れが生じている。

(3) 国分寺市子ども・子育て会議による答申（評価）

国分寺市子ども・子育て会議は、施策評価書に記載の個別事業の実施状況及び施策の方向性に係る実施状況を確認・評価した上で、施策の進捗状況の評価を行います。

同会議においても、(2)の4段階で評価（本市評価と同様であればその旨の記載に代えることも可）をした上で、特記すべきことがある場合は、その旨を加筆します。

(4) 各施策の評価概要（総括表）

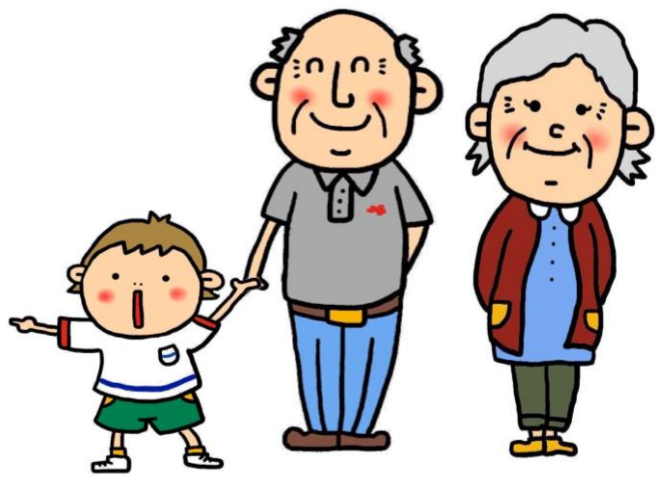
達成状況		事業数	実績例
A	令和6年度の目標を達成した。 又は、令和6年度目標に向けた 令和2年度目標を達成した。	21	<ul style="list-style-type: none"> ● 出産・子育て応援（ゆりかご・こくぶんじ）事業〔通番2〕 面接方法を従来の対面での面接に加えて、電話・オンラインでも実施をしたため、目標を達成することができた（ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合は、96.2%であった。）。 ● 国分寺市プレイステーション事業〔通番23〕 年間来場者数は18,984人であった。新型コロナウイルスの影響により、臨時休園等利用できない期間はあったが、乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供できた。 ● 道徳教育に関する実践的研究や研修の充実 全校が前年度の計画を見直し、全体計画や年間指導計画を改善した。また、これらの計画に基づき、各校の実態に応じた取組を進めることができた。
B	令和6年度目標に向けた令和2年度 目標をおおむね達成した。	39	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育コンシェルジュ事業〔通番5〕 情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートした。また、障害を持つ児童の入所申請には、希望施設と連絡調整を実施し、見学の日程調整・同行見学を行うなど、保護者の負担軽減を図った。 ● 公民館保育室事業〔通番42〕 年度当初に計画した、事業についてはほぼ実施することができたが、回数については新型コロナウイルス感染症のため、やや少なくなってしまった。託児付きの講座を実施することによって保護者が落ち着いて学ぶ機会を提供することができた。また、親同士、子ども同士の新しい関係作りにもつながった。
C	令和6年度目標に向けた令和2年度 目標を下回った。	10	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童館における行事の充実〔通番10〕 新型コロナウイルス感染症対策により、積極的な地域連携及び多世代交流が出来なかったため、日々の運営を通して利用者間の交流ができるよう臨機応変に読み聞かせや工作遊び等の提供を行い、利用者同士の交流を促した。 ● 小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）〔通番64〕 新型コロナウイルス感染症の影響により、小・中学生広島派遣は中止となったため、被爆地で様々な体験をすることはできなかったが、平和祈念式、東京空襲資料展及び戦争体験講話には子どもの参加もあり、核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めることができた。

(5) C評価「令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。」

基本 目標 ／ 施策	通番	事業名	2年度 所管課	令和6年度目標		令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標		令和2年度実績		令和2年度実績評価			
				量的	質的	量的	質的	量的	質的	量的		質的	
										評価	評価理由と課題	評価	評価理由と課題
I (2)	10	児童館における行事の充実	子ども子育て事業課	多世代交流行事実施回数：30回 地域とのかかわり行事実施回数：120回 ※全児童館の合計実施回数	地域社会との連携及び地域の高齢者・学生等との多世代交流を図りながら、事業が実施されている。	多世代交流行事実施回数：6回 地域とのかかわり行事実施回数：24回 ※全児童館の合計実施回数	感染症の蔓延状況を鑑みながら消毒・衛生に留意しつつ、地域連携が継続できる可能な範囲で事業を実施する。	多世代交流行事実施回数：0回 地域とのかかわり行事実施回数：0回 ※全児童館の合計実施回数	新型コロナウイルス感染症対策により、積極的な地域連携及び多世代交流が出来なかったため、日々の運営を通して利用者間の交流ができるよう臨機応変に読み聞かせや工作遊び等の提供を行い、利用者同士の交流を促した。	C	東京都のコロナウイルス感染症の状況が改善されないことから「国分寺市の公共施設フロー」による施設利用の制限があり、行事等を実施することができなかった。また、施設の感染症対策としての受け入れ人数に制限があることから集客を伴う行事の設定や告知が行うことが出来なかった。	C	新型コロナウイルス感染症対策により、積極的な多世代交流事業や行事の実施ができなかったため、日々の運営の中で利用保護者同士の情報交換や子どもの遊びを通して交流を促し、コミュニケーションネットワークの形成を促した。孤立しがちな乳幼児保護者には、児童館職員が育児相談にのる等、保護者への支援を行った。
I (2)	11	児童館におけるボランティア等受入れ事業	子ども子育て事業課	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計140人	地域住民をボランティア等として受け入れ、児童館の活動に参加できる機会を提供していくことを通じて、地域の人材・組織等との連携・協力関係が築かれている。	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計50人	行事の再開に伴いボランティアを受け入れ、活動を通じて児童館の活動に理解と協力を得て、地域の人材・組織等との連携・協力関係を築く。	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計54人(継続登録：51人 新規登録：3人)	国分寺市立児童館の利用に係る留意事項に基づいて利用時間と人数の制限・社会的距離を確保しながらの開館のため、行事等の再開ができずボランティアの受け入れが進められなかった。行事に係る昨年度からの継続を希望する方は、行事の再開をした場合に備えて受け入れた。	a	継続登録の希望が多く、行事の再開に期待している声が聞かれた。今後も感染症対策を行いながら行事の再開に努め、ボランティアの受け入れをしていく。	C	東京都のコロナウイルス感染症の状況が改善されないことから「国分寺市の公共施設フロー」による施設利用の制限があり、行事等を実施することができず、ボランティア活動の機会の提供に至らなかった。そのため、ボランティア活動を通じた地域の人事・組織等との連携・協力関係の構築の実現に至らなかった。
II (4)	31	自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施	防災安全課	実施団体数 自主防犯活動団体数：56団体 協力事業者数：23事業者	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。	実施団体数 自主防犯活動団体数：48団体 協力事業者数：19事業者	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。	実施団体数 自主防犯活動団体数：38団体 協力事業者数：16事業者	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で防犯活動を実施したが、自主防犯活動団体においては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控える団体もあった。	C	令和2年度の目標を達成しなかったため。	C	コロナ禍のため、主な自主防犯活動団体である自治会・町会の活動が停滞し、周知や防犯用品の支給が進まなかった。

基本目標 ／ 施策	通番	事業名	2年度 所管課	令和6年度目標		令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標		令和2年度実績		令和2年度実績評価			
				量的	質的	量的	質的	量的	質的	量的		質的	
										評価	評価理由と課題	評価	評価理由と課題
Ⅲ (1)	45	児童発達支援センターの設置	子育て相談室	1か所	地域の中核的な療育支援施設として整備されている。	所管課及び関係部署による児童発達支援センター設置に関する会議を設ける。	児童発達支援センターの事業内容について取りまとめられ、必要な機能なども検討されている。	所管課内での児童発達支援センター設置に向けた検討を行った。	児童発達支援センターの事業内容及び必要な機能についての検討を開始した。	c	関係部署を含めた会議の開催に至らなかったため。	c	児童発達支援センターの事業内容及び必要な機能について内部で検討を実施したが、関係部署等を交えた検討及び結果の取りまとめに至らなかったため。
Ⅳ (1)	52	障害への理解促進・普及啓発事業	障害福祉課	市主催の障害への理解促進に関する啓発活動を年12回実施している。	障害への理解促進、差別解消に関する講演会等や障害者週間行事を開催している。	市主催の障害への理解促進に関する啓発活動を年12回実施している。	障害への理解促進、差別解消に関する取組として、障害者週間行事等を開催している。	障害への理解促進に関する啓発活動を年6回実施した。 市主催のイベントがほぼ中止されたため、名義後援事業の参加者や市内小・中学校の児童生徒へも「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の普及啓発グッズの配付を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者週間行事の講演会は中止したため、障害への理解促進のための啓発ポスター1,500枚を作成した。 啓発ポスターは市内公共施設のほか、西武鉄道・JRの駅や医療機関、町内会、特別支援学校等に掲示依頼し、幅広い市民に啓発活動を行った。	c	新型コロナウイルス感染症の影響により、市主催のイベントがほぼ中止されたため、目標が達成できなかった。 障害への理解促進事業は継続する必要があるため、イベント以外の啓発活動にも積極的に取り組んでいく必要がある。	c	新型コロナウイルス感染症の影響により講演会が行えなかったため、啓発ポスターを市内公共施設のほか、西武鉄道・JRの駅や医療機関、町内会、特別支援学校等に掲示依頼し、幅広い市民への啓発のための手法を検討する必要がある。
Ⅳ (2)	61	受験生チャレンジ支援貸付事業	生活福祉課	相談件数：841件 貸付決定件数：84件	進学を希望する子どもが進学できている。	相談件数：841件 貸付決定件数：84件	進学を希望する子どもが進学できている。	相談件数：485件 貸付決定件数：55件	進学を希望する子どもが進学できている。	c	相談件数及び貸付決定件数ともに目標を下回ったため。	a	貸付を行った全ての子どもが進学できたため。
Ⅳ (2)	63	ジュニアサマー野外活動交流会	スポーツ振興課	国分寺市参加者数：30人	佐渡市の子どもたちとの交流が図られている。	東京2020オリンピックパラリンピック大会が予定されており、時期が重なるため、実施しないこととした。	佐渡市の子どもたちとの交流が図られている。	東京2020オリンピックパラリンピック大会は延期されたが、当初予定通り実施しなかった。	交流を図れなかった。	c	上記理由により当初予定どおり未実施となったため。	c	交流を深められなかったため。

基本 目標 ／ 施策	通番	事業名	2年度 所管課	令和6年度目標		令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標		令和2年度実績		令和2年度実績評価			
				量的	質的	量的	質的	量的	質的	量的		質的	
										評価	評価理由と課題	評価	評価理由と課題
IV (2)	64	小・中学生 被爆地派遣 (ピース メッセン ジャー)	人権平和 課	年1回実施	児童・生徒が被爆 地で様々な体験を することにより、 核兵器と戦争の悲 惨さ及び平和の大 切さについて認識 を深めている。	年1回実施	児童・生徒が被爆 地で様々な体験を することにより、 核兵器と戦争の悲 惨さ及び平和の大 切さについて認識 を深めている。	新型コロナウイルス 感染症の影響に より、小・中学生 広島派遣は中止と なった。	新型コロナウイルス 感染症の影響に より、小・中学生 広島派遣は中止と なったため、被爆 地で様々な体験を することはできな かったが、平和祈 念式、東京空襲資 料展及び戦争体験 講話には子どもの 参加もあり、核兵 器と戦争の悲惨さ 及び平和の大切さ について認識を深 めることができた。	c	小・中学生広島派 遣が中止となった ため。	c	小・中学生広島派 遣が中止となった ことから、被爆地 で様々な体験を行 うことができな かったため。な お、平和祈念式、 東京空襲資料展及 び戦争体験講話は 予定どおり開催し た。子どもの参加 もあり、核兵器と 戦争の悲惨さ及び 平和の大切さにつ いて認識を深める ことができた。
IV (2)	65	史跡駅伝事 業	スポーツ 振興課	小学生40組 中学生40組	歴史や自然を生か したスポーツイベ ントを開催すると ともに、小・中 学生の体力・競技 力の向上が図られ ている。	小学生40組 中学生40組	歴史や自然を生か したスポーツイベ ントを開催すると ともに、小・中 学生の体力・競技 力の向上が図られ ている。	小学生0組 中学生0組	新型コロナウイルス 感染症拡大防止 対策のため、未開 催となり、小・中 学生の体力・競技 力の向上を図れな かった。	c	国分寺市新型コロ ナウイルス感染症 対策本部会議にて イベント中止の判 断がされ、未開催 となった。 コロナ禍での開催 方法を検討する必 要がある。	c	国分寺市新型コロ ナウイルス感染症 対策本部会議にて イベント中止の判 断がされ、未開催 となった。した がって、本事業を 通した小・中学生 の体力・競技力の 向上は図れなかつ た。 コロナ禍での開催 方法を検討する必 要がある。
IV (2)	68	児童館での 学生等の職 場体験・実 習受入事業	子ども子 育て事業 課	職場体験及び施設 実習の受入人数： 合計60人	児童館の仕事を幅 広く体験できるよ うな体験・実習の 活動内容となっ ており、参加者に とって貴重な学び の機会となっている。	職場体験及び施設 実習の受入人数： 合計12人	児童館の仕事を幅 広く体験できるよ うな体験・実習の 活動内容となっ ており、参加者に とって貴重な学び の機会となってい る。	職場体験及び施設 実習の受入人数： 合計0人（感染症 対策のため受け入 れを中止した。）	新型コロナウイル ス感染症の影響 で、職場体験及び 実習生の受入を中 止。	c	感染症対策として 職場体験や実習生 の受入を中止し た。今後は適切な 感染症対策をした 上での受入体制を 整えていく。	c	感染症対策として 職場体験や実習生 の受入を中止し た。今後は適切な 感染症対策をした 上での受入体制を 整えていく。





施策評価書
(計画第4章評価部分)

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番1及び通番3の実績にあるとおり、対面により相談等を行う事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、活動の自粛や実施そのものを中止することを余儀なくされ、予定どおりに実施することが困難となる部分があった。しかし、通番1では関係団体と連携の上で情報発信を行い、通番2及び通番3ではオンラインによる手法を導入する等、事業の目標を達成するための工夫を行った。通番4から通番7の事業については、目標に対して量的・質的ともに「おおむね達成している」以上の結果となった。

2 施策の方向性に係る実施状況

1に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、予定どおりに実施することが困難となる部分があったが、対面にとらわれない実施方法や代替措置（通番1では、親子ひろば事業等が中止となったことから助産師等の電話相談を実施）により、妊娠期から子育て期にわたっての不安軽減・情報提供に努めるとともに、相談機関を紹介する等、自ら相談に来ることができない人が各種サービスにつながっていけるよう働きかけを行った。

通番4の事業では、相談業務での対応や通番1及び通番2の事業を実施していく中で受けた相談等から継続的に支援が必要な方を把握し、子ども家庭支援センター等の関係機関と連携して支援を行うとともに、「国分寺子ども・子育て支援円卓会議」への参加や民生委員・児童委員、主任児童委員との懇談の場を設定する等、同事業の更なる周知を図る取組も行った。

各窓口で受けた相談・申請や乳幼児健康診査（通番48）等で発育や発達支援に配慮が必要な子どもを把握した場合は、通番5による負担軽減に係る取組等も行いながら、その子ども及び保護者が適切な支援を受けることができるよう、各種事業や必要な支援機関へつなげていくこととしている。また、ひとり親家庭の生活自立に向けた支援については、通番6・通番7によるもののほか、必要に応じてひとり親家庭ホームヘルプサービス（通番41）の提供を行った。

各種子育てサービスに係る情報提供については、一人ひとりに合ったものとなるよう「暮らしのガイド」や「ホッとおれんじ こくぶんじ」といった子育てサービスを掲載した冊子を作成・活用するとともに、各事業実施所管課において作成しているもの（子育て応援プランや保育入所案内等）も活用した。周知媒体・方法についてもホームページや市報といった全市民を対象とするものだけでなく、個々のチラシを作成することや、関係部署と連携し、郵送物に同封する等の工夫を行った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

各重点事業の課題（重点事業評価シート中「令和2年度実績に係る評価及び課題」に記載のあるもの）について、解決のための検討・取組を進める必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、対面にとられない実施方法や代替措置を導入し、相談事業をはじめとした子育て支援が実施されている。しかし、対面により実施されることの良さや、対面により実施されることでより高い効果が得られることを踏まえ、より適切な方法により支援が実施されるよう方法を検討されたい。
- 各種子育てサービスに係る情報提供をするために作成している「ホッとおれんじ こくぶんじ」は、子育てなどに不安を抱える方の助けになるものであることから、当該冊子によって相談先などを探すことが当たり前になるような周知方法を検討されたい。
- 本施策の重点事業によるものだけではなく、国分寺市では、親子ひろばやプレイステーションもあり、保護者同士のネットワークづくりがしやすい環境にあるが、仲間づくりをすること自体を苦手とする方もいる。そのような方でも仲間づくりをしていくことができるよう、関係する事業においては、場所の設定を行うなどの工夫をされたい。
- コロナ禍において保育施設の利用が困難となっている保護者に対する各種事業の連携について、より周知に努められたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
1	利用者支援事業（基本型）の充実		子育て相談室
事業内容			
子育て応援パートナーが、親子ひろば事業など地域の子育て支援施設等を巡回し、子育て家庭等からの相談に応じるとともに、子育て支援事業及び保育サービスの利用に当たっての情報提供及び助言を行う。			
令和6年度目標			
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内3か所 ※子育て世代包括支援センター事業を除く。		
	地域子育て支援拠点事業や地域の子育て支援活動を行う団体との連携が強化され、一人ひとりに合わせたきめ細やかな子育て支援サービスが提供されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内2か所		
	地区連絡会や巡回訪問等を通じ、地域子育て支援拠点事業や地域の子育て支援活動を行う団体（以下「地域の子育て支援活動実施事業者等」という。）との連携が強化され、一人ひとりに合わせたきめ細やかな子育て支援サービスが提供されている。		
令和2年度実績			
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内2か所		
	新型コロナウイルス感染症対策により、地域の子育て支援活動が活動自粛になったため、巡回回数には減少したが、地区連絡会や巡回訪問等を通じ、地域の子育て支援活動実施事業者等との連携を図り、地域の情報を収集し、ツイッターやホームページ等により市民への情報発信に努めた。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標値のとおり、利用者支援事業（基本型）を実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	地区連絡会や巡回訪問等を通じ、地域の子育て支援活動実施事業者等との関係性を築きながら、市民一人ひとりがきめ細やかな子育て支援サービスを受けることができるよう、地域の社会資源の情報をとりまとめ、情報提供することができた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
2	出産・子育て応援（ゆりかご・こくぶんじ）事業		健康推進課
事業内容			
全ての妊婦を対象として、妊娠期から専門職がかかわることにより、出産・子育てに関する不安を軽減する。また、各家庭のニーズに応じた支援を妊娠期から子育て期にわたって切れ目なく行うことにより、妊婦並びに乳幼児及びその保護者の心身の健康の保持及び増進を図る。			
令和6年度目標			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率：100%		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合：100%		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率：90% （妊娠届数に対する面接者数の割合。以下同じ。）		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合：95% （ゆりかご・こくぶんじ利用者数に対する同事業の利用者アンケートで「満足している」と回答した者の割合。以下同じ。）		
令和2年度実績			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率 108.2%		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合 96.2%		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	面接方法を従来の対面での面接に加えて、電話・オンラインでも実施をしたため、目標を達成することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	質的実績にあるように、目標達成となったため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
3	両親学級 (わくわくクラス・ひかりクラス・プレママプレパパセミナー)		健康推進課
事業内容			
妊婦とその家族を対象として、妊娠・出産・育児に関する知識の習得、母子保健サービスに関する情報提供、妊娠中の不安の軽減を図り、地域での仲間づくりを進める。			
令和6年度目標			
量的	両親学級：10回実施 プレママ・プレパパセミナー：3回実施		
質的	地域での仲間づくりができています。 健康・妊娠・育児に関する知識や情報を得ることができ、安心して出産・育児ができる。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	両親学級：10回実施 プレママ・プレパパセミナー：2回実施		
質的	地域での仲間づくりができています。 健康・妊娠・育児に関する知識や情報を得ることができ、安心して出産・育児ができる。		
令和2年度実績			
量的	両親学級8回実施（わくわくクラス：4回 110人。 ひかりクラス：4回 209人（内2回はオンライン実施）。新型コロナウイルス感染症対策のため2回中止。） プレママ・プレパパセミナー 0回。新型コロナウイルス感染症対策のため中止。		
質的	妊婦とそのパートナー等家族が妊娠・出産に関する知識を得る場となり、地域で安心して出産・子育てすることにつながっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、妊娠期・子育て期に必要な情報提供を重点的に実施した。交流の場を十分に実施できず、目標に掲げていた「地域での仲間づくり」は難しい状況だったが、個別対応する等、妊婦とそのパートナーが安心して出産・育児ができるよう不安の軽減に務めた。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	両親学級は新型コロナウイルス感染症対策により2回中止となったため、8回の実施となった。そのため目標回数10回は達成できず、部分達成となった。 プレママ・プレパパセミナーは目標回数2回のすべてが中止となったため未達成となった。 両親学級、プレママ・プレパパセミナーの総合実施回数は目標の7割弱であるため目標を下回った。
	c		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策のため、両親学級については、年度途中からオンラインでの開催を行った。地域での仲間づくりについては難しい状況であったため部分達成とした。今後も社会情勢を踏まえて、妊婦とそのパートナー等家族が安心・安全に、参加できるような事業としていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
4	子育て世代包括支援センター事業 （「親と子の相談室」を含む）		健康推進課
事業内容			
主に妊産婦及び乳幼児期の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要に応じて関係機関との連携を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的なサービスを提供する。このことを通じて、妊産婦及び乳幼児等の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことにより、切れ目のない支援を提供する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい		
	①妊娠・出産について満足している者の割合：85% ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：95%		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい		
	①妊娠・出産について満足している者の割合：70% （3～4箇月児健診対象者に実施するアンケートへの回答者数に対する同アンケートにおいて「妊娠・出産について満足している」と回答した者の割合。以下同じ。） ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：91% （3～4箇月児、1歳6箇月児及び3歳児健診対象者に実施するアンケートへの回答者数に対する同アンケート中設問「本市で子育てを継続したいと思う」において「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した者の割合。以下同じ。） ※アンケート…「すこやか親子21」（国実施）に基づき実施するアンケート		
令和2年度実績			
量的	継続的支援が必要な方を子育て世代包括支援センター事業で把握し、必要に応じて子育て応援パートナーなど関係機関と連携し、支援に必要な情報共有を図った。 ・親と子の相談室 年4回実施。（市民相談10件、保健師相談4件） ・地域における健康教育（出前講座）年3回実施。 ・母子保健及び子育て支援に係る支援者等への研修会 年2回実施。		
	①妊娠・出産について満足している者の割合：77.6% ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：95.9%		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	継続的支援が必要な方を子育て世代包括支援センター事業で把握し、必要に応じて子育て応援パートナーなど関係機関と連携し、情報共有を図った。 子育て世代包括支援センター事業では、関係機関との連携強化を図るため、事業周知を行い、研修を企画するなど実施した。引き続き妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援について充実を図る。
	b		
質的	評価	評価理由等	令和2年度実績にあるとおり、目標を達成したため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
5	保育コンシェルジュ事業		子ども子育てサービス課
事業内容			
保育コンシェルジュが利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。さらに、関係機関との連絡・調整を行い、利用者目線で、一人ひとりに寄り添った子育て支援を実施する。			
令和6年度目標			
量的	コンシェルジュの体制: 2人		
	質的		
情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。			
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	コンシェルジュの体制: 2人		
	質的		
情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。			
令和2年度実績			
量的	コンシェルジュの体制: 2人		
	質的		
情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートした。また、障害を持つ児童の入所申請には、希望施設と連絡調整を実施し、見学の日程調整・同行見学を行うなど、保護者の負担軽減を図った。			
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	平成31年度より、コンシェルジュを2名体制とし、目標どおりの体制を確保出来ているため。
	a		
質的	評価	評価理由等	きめ細やかに保護者への情報提供・相談等の利用者支援を行い、教育・保育施設の円滑な利用をサポートできた。利用者の要望全てに答えることは難しいが、今後もきめ細やかに利用者支援を行っていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
6	母子・父子自立支援プログラム策定事業		生活福祉課
事業内容			
児童扶養手当受給者等の自立を促進するために、児童扶養手当受給者等の相談を受け、個々の状況やニーズ等に対応した自立支援プログラムを策定し、継続的な自立・就業支援を行う。			
令和6年度目標			
量的 質的	プログラム策定数：8件		
	プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的 質的	プログラム策定数：7件		
	プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができている。		
令和2年度実績			
量的 質的	プログラム策定数：11件		
	プログラムを策定した市民が、ひとり親家庭自立支援給付金事業等を活用し、自立した生活を送ることができている。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	目標値を超えた支援を求めるひとり親家庭の親11人に対し、プログラムを策定し自立に向けた支援を行ったため。
	a		
質的	評価	評価理由等	一人ひとりの状況に合わせた自立支援プログラムを策定したことで、プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができたため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
7	ひとり親家庭自立支援給付金事業		生活福祉課
事業内容			
ひとり親家庭の自立の促進、ひとり親家庭の親の学び直しやひとり親家庭の児童の進学を支援することを目的に、①自立支援教育訓練給付金、②高等職業訓練促進給付金、③高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の給付金を支給する。			
令和6年度目標			
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：14人		
	安定的に雇用され、経済的に自立できている。		
質的			
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：12人		
	安定的に雇用され、経済的に自立できている。		
質的			
令和2年度実績			
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：11人		
	安定的に雇用され、経済的に自立できている。		
質的			
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数が目標の8割に到達したため。
	b		
質的	評価	評価理由等	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等を利用した方のうち、自立支援教育訓練給付金を受給した1人が取得した資格を活用し就職できた。また、高等職業訓練促進給付金を受給し修了した4人の方が、取得した資格を活用し就職できた資格取得者はそれぞれ安定的に雇用され経済的に自立することができた。残りの6人の方は、資格取得に向けて訓練を継続中であるが、高等職業訓練促進給付金を受給することで経済的に自立できているため。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様



国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

各事業とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、活動の自粛や事業を中止せざるを得ない状況であったことや、施設の利用制限等もあったことから、予定していた事業を実施できなかったものが多かった。

しかし、通番8では市民が最新の子育て支援サービス状況の確認ができるよう地域の子育て支援活動団体等と協力しての情報発信を行い、通番10では利用制限下であっても読み聞かせや工作遊びを提供する中で利用者同士の交流促進を図り、また、児童館職員による孤立しがちな保護者への相談対応を行い、通番11では事業の再開に備えてボランティアを受け入れる等、各事業において、その目的を達成するため、実施方法を工夫し、事業再開後の体制準備を行った。

なお、通番9については、3か月間の事業中止期間があったが、感染防止対策の徹底と遊び環境の設定に工夫を行ったことや、戸外遊びの事業であったことから、利用人数が増加する結果となった。

2 施策の方向性に係る実施状況

地域でともに支え合う環境づくりを進めるため、通番8において、地域で子育て支援活動を実施する行政、事業者、団体、子育て支援活動に興味のある市民が定期的に集まり、情報交換できる場を設けた。また、市内において実施されている子育て支援活動を周知し、また、その活動について支援するための取組として、子育て支援活動内で市民へ情報提供できるよう社会福祉協議会や国際協会の活動に関する研修を実施することができた。

通番9では、市民サポーターによる補助や利用者の祖父母が工作遊びを提供してくれる等地域における子育て支援のきっかけづくりにつながる事業展開ができていたが、通番10及び通番11については、**1**にも記載のとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、イベントを含めた事業の実施が困難となり、本施策の方向性（多世代交流・ボランティアの参加）に沿って事業を実施することができなかった。

なお、児童館については、平日17時以降及び土曜日も開館していることから、保護者同伴で利用される方もあり、働いている方のニーズに対応することができている。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各事業において、予定していたものの実施が困難となったものが多かった。各事業がそれぞれの事業の目的を達成すべく工夫を凝らしながら実施したことや事業再開に向けて準備していたこともあり、また、通番9では、令和3年度に予定されている新規公園での実施に向けた準備を行うことができたことから、本施策に対する評価については、このように判断した。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番11で受入れを行っているボランティアの方々については、特技などを活かした活動を望む方がいるとのことである。今後も児童館における積極的なボランティア活動や受入れが進むよう、特技などを活かした活動ができることを積極的に周知されたい。また、学生ボランティアが多い実態を踏まえ、学生が継続的にボランティア活動をすることができるよう近隣の大学と連携するなどの工夫を検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番10及び通番11は、新型コロナウイルス感染症による影響の見通しが立たない状況ではあるが、実施しなければならない事業である。コロナ禍により、地域の方やボランティアの方が直接施設へ来訪しての実施は困難であったとしても、動画を撮影し配信するなどの工夫をして、希望される方が活動できる機会の確保に努められたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
8	子育て支援活動の推進（地域組織化活動）		子育て相談室
事業内容			
地域に「ともに支え合う」環境づくりを進めるために、市内において実施されている子育て支援事業や活動を、市民活動団体等との連携のもと支援する。 ①子ども・子育て支援円卓会議の実施 ②市内子育て支援活動の広報 ③市内子育て支援活動の活動援助（イベント実施，研修含む） ④地域ボランティアの育成，活動支援			
令和6年度目標			
量的	①毎月1回開催 ②～④年1回		
質的	子どもとその家庭を支援するネットワークが形成され，市民や市民活動団体等との日常的な連携・協働関係のもと，市民への円滑なサービスが提供されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	①毎月1回開催 ②～④年1回		
質的	子どもとその家庭を支援するネットワークが形成され，市民や市民活動団体等との日常的な連携・協働関係のもと，市民への円滑なサービスの提供がされている。		
令和2年度実績			
量的	①年11回実施 ②市報の折り込み記事として，7月1日に「こっここだより」を発行した。 ③イベント：新型コロナウイルス感染対策により中止。研修：1回実施。 ④新型コロナウイルス感染対策により，ボランティアの受入れ中止。		
質的	新型コロナウイルス感染対策により，活動を自粛している地域の子育て支援活動実施事業者等が多かったため，市民が最新の子育て支援サービス状況が確認できるよう地域の子育て支援活動団体等と協力し，互いに広報媒体を活用し，子育て支援活動の情報発信を行った。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染対策により，イベントやボランティアの受入れ中止があったが，地域の子育て支援活動実施事業者等の情報交換の場の実施。市民への地域の子育て支援活動の広報等は，おおむね目標どおりに，実施することができた。
	b		
質的	評価	評価理由等	地域の子育て支援団体等との連携を図り，市民へコロナ禍における地域の子育て支援活動の状況を，ツイッターやホームページなどで発信し，円滑なサービス提供を行うことができた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
9	こくぶんじ青空ひろば		子ども子育て事業課
事業内容			
乳幼児及びその保護者等に対し，市内公園を活用して，安心して過ごすことのできる遊びの場を提供することにより，保護者同士の交流を図るとともに，地域全体で子どもを見守り，育てる環境をつくる。			
令和6年度目標			
量的 質的	10公園		
	市内公園を活用した乳幼児親子の遊びの場を提供することにより，保護者同士が交流し，また，地域住民が子どもの遊びを身近に感じ，子育て支援について理解している。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的 質的	10公園 また，新規実施のため，新たに一か所の事業者選定を行う。		
	市内公園を活用した乳幼児親子の遊びの場を提供することにより，保護者同士が交流し，また，地域住民が子どもの遊びを身近に感じ，子育て支援について理解している。		
令和2年度実績			
量的 質的	9公園 また，新規実施のため，新たに一か所の事業者選定を行った。		
	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたが，その後感染症対策を講じた上で公園での活動を再開した。戸外ということもあり，乳幼児親子の居場所として同年代の子どもとの遊び場，保護者同士の交流の場，また子どもの見守り環境の提供を行うことができた。令和3年度に新規実施公園での事業実施ができるよう，関係課と調整を図り，市内東部地域に新規実施公園候補を決め，協働事業者更新公募を行い，事業者を決定した。		
量的 質的	評価 b	評価理由等	9公園において，乳幼児親子の遊び場を提供できた。また，令和3年度に新規実施公園での事業実施ができるよう，青空ひろば事業が実施されていない地域である東部地区の公園一か所を選定し，協働事業事業者更新事務手続きを行った。
	評価 b	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策のため，約3か月間，事業中止となったが，戸外遊びである青空ひろば利用人数は増えたため，居場所の提供ができた。
結果	評価 B	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。 ※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
10	児童館における行事の充実		子ども子育て事業課
事業内容			
地域に根ざし、地域に開かれた児童館として、乳幼児期、児童期及び思春期の発達段階に応じた子どもたちの健全な遊びや日常生活を支援するとともに、地域社会との連携及び地域の高齢者・学生等との多世代交流を図りながら、様々な行事等を実施し、地域とともに子どもたちの健全育成を進める。			
令和6年度目標			
量的	多世代交流行事実施回数：30回 地域とのかかわり行事実施回数：120回 ※全児童館の合計実施回数		
	地域社会との連携及び地域の高齢者・学生等との多世代交流を図りながら、事業が実施されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	多世代交流行事実施回数：6回 地域とのかかわり行事実施回数：24回 ※全児童館の合計実施回数		
	感染症の蔓延状況を鑑みながら消毒・衛生に留意しつつ、地域連携が継続できる可能な範囲で事業を実施する。		
令和2年度実績			
量的	多世代交流行事実施回数：0回 地域とのかかわり行事実施回数：0回 ※全児童館の合計実施回数		
	新型コロナウイルス感染症対策により、積極的な地域連携及び多世代交流が出来なかったため、日々の運営を通して利用者間の交流ができるよう臨機応変に読み聞かせや工作遊び等の提供を行い、利用者同士の交流を促した。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	東京都の新型コロナウイルス感染症の状況が改善されないことから「国分寺市の公共施設フロー」による施設利用の制限があり、行事等を実施することができなかった。また、施設の感染症対策としての受け入れ人数に制限があることから集客を伴う行事の設定や告知が行うことが出来なかった。
	c		
質的	評価	評価理由等	新型コロナ感染症対策により、積極的な多世代交流事業や行事の実施ができなかったため、日々の運営の中で利用保護者同士の情報交換や子どもの遊びを通して交流を促し、コミュニケーションネットワークの形成を促した。孤立しがちな乳幼児保護者には、児童館職員が育児相談にのる等、保護者への支援を行った。
	c		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	C		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
11	児童館におけるボランティア等受入れ事業		子ども子育て事業課
事業内容			
児童館において、多様な経験・知識等を持つ地域住民をボランティア等として受け入れ、児童館の活動に参加できる機会を提供していくことを通じて、地域の人材・組織等との連携・協力関係を築いていき、地域とともに子どもたちの健全育成を進める。			
令和6年度目標			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計140人		
	質的		
地域住民をボランティア等として受け入れ、児童館の活動に参加できる機会を提供していくことを通じて、地域の人材・組織等との連携・協力関係が築かれている。			
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計50人		
	質的		
行事の再開に伴いボランティアを受け入れ、活動を通じて児童館の活動に理解と協力を得て、地域の人材・組織等との連携・協力関係を築く。			
令和2年度実績			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計54人（継続登録：51人 新規登録：3人）		
	質的		
国分寺市立児童館の利用に係る留意事項に基づいて利用時間と人数の制限・社会的距離を確保しながらの開館のため、行事等の再開ができずボランティアの受け入れが進められなかった。行事に係る昨年度からの継続を希望する方は、行事の再開をした場合に備えて受け入れた。			
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	継続登録の希望が多く、行事の再開に期待している声が聞かれた。今後も感染症対策を行いながら行事の再開に努め、ボランティアの受け入れをしていく。
	a		
質的	評価	評価理由等	東京都の新型コロナウイルス感染症の状況が改善されないことから「国分寺市の公共施設フロー」による施設利用の制限があり、行事等を実施することができず、ボランティア活動の機会の提供に至らなかった。そのため、ボランティア活動を通じた地域の人事・組織等との連携・協力関係の構築の実現に至らなかった。
	c		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	C		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番12については、市内の待機児童の分布等を踏まえた上で、認可保育所の整備を行い、288人の定員拡充を行ったが、令和3年4月1日時点の待機児童数の見込値より多くの待機児童が発生する結果となった。通番15については、公設及び民設を合わせて208人の定員拡充を行ったことで、公設学童保育所の狭あい状況を改善することができた。

通番13では、例えば研修事業においては、従来の対面による講義形式から、動画の配信、資料の配付及びオンライン形式による実施等とした。また、事業実施に当たっての定例的な会議や講師との打合せもオンラインで実施する等の工夫をし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しつつ、事業全体の継続性を確保した。

多様な保育ニーズに対応していくための環境整備については、通番14により、障害のある子ども一人ひとりの特性に応じた保育が実施されるよう、職員加配に対する補助を実施した。

2 施策の方向性に係る実施状況

市内保育施設の保育の質の維持・向上のため、保育所の整備の段階において、一定水準以上の保育が行われている事業者を選定するため、公募による事業者選定の際に、事業者の運営している保育所の現地確認を実施している。加えて、多様な保育ニーズに対応できる事業者を選定するため、本市が事業者へ求めていることを募集要項に明記し、協議事項とすることで、開所後の保育サービスの充実を担保するよう工夫を行った。また、保育施設が全ての子どもにとって、ともに成長していく場となるよう、通番13において、心理相談員による巡回相談事業・指定相談事業やこどもの発達センターつくしんぼの見学会を実施し、発達が気になる子・配慮が必要と思われる子に対する保育士の対応力の向上を図りながら、通番14において、一人ひとりの特性に応じた保育ができるよう加配職員に対する補助も実施している。

学童保育所について、民設民営学童保育所設置運営事業者の公募・選定の際には、児童が安全・安心に過ごすことができることに加えて、本会議で出た意見を踏まえ、外遊び環境等多様な体験・活動を行うことのできる環境の充実を図ることを協議事項とし、開所後の運営の質を確保できるよう工夫を行った。また、公設の学童保育所では、新型コロナウイルス感染症対策として、小学校の三季休業中に、教育委員会や学校の協力を得て、学校の教室、図書室、体育館及び校庭等の学校施設を借用し、分散保育を行うとともに、学童保育所の放課後児童支援員が放課後子どもプランの協力員と適時情報交換を行いながら、利用する児童が放課後子どもプランに円滑に参加できるよう連携を図った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

令和3年度も保育施設・学童保育所ともに、量の確保と合わせて、質の維持・向上や多様なニーズへの対応を図っていく必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 保育の質の維持・向上のため、基幹型保育所については、事業の実施にとどまるだけでなく、市内の保育施設に対し、相談・助言等を行えるような保育所であることを望む。

2 施策の方向性に係る実施状況

おおむね「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 「東京都福祉サービス第三者評価」結果は、保育事業者によって提供されている保育サービスの状況を表す1つの客観的数値であるという点に注目すれば、今後保育所の整備において公募により保育事業者を選定する際には、引き続き同「評価」結果も参考とするよう提案する。なお、複数の施設を運営する事業者の選定を行う際に同「評価」結果を参考とする場合には、複数の施設の「評価」結果を併せて把握するなど、一定水準以上の保育が行われていることを確認するための評価方法の改善を模索することを提案する。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
12	待機児童解消のための認可保育所の増設		子ども若者計画課
事業内容			
子ども・子育て支援事業計画に基づき待機児童を解消する。			
令和6年度目標			
量的 質的	適正に認可保育所が整備され、待機児童が0人になっている。		
	待機児童の地域的偏在がなく、状況に応じて認可保育所が整備されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的 質的	計画に基づき認可保育所が整備され、令和3年4月1日付けの待機児童が30人になっている。		
	待機児童の地域的偏在がなく、状況に応じて認可保育所が整備されている。		
令和2年度実績			
量的 質的	認可保育所を新たに4施設（定員288人）整備し、令和3年4月1日付けの待機児童は、48人だった。		
	待機児童の分布状況や今後の地域的ニーズの見通し等待機児童の状況を詳細に分析することで、地域的偏在を減らし、状況に応じた認可保育所を整備した。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	計画に基づき整備したものの、目標とする人数よりも待機児童数が多かったため。
	c		
質的	評価	評価理由等	待機児童の分布を地域別等で把握した上で、整備を進めたことで、地域的偏在を減らし、状況に応じた認可保育所の整備ができたため。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
13	基幹型保育所システム事業		子ども子育て事業課
事業内容			
市内を3つのエリアに分け、各エリア内に基幹型保育所を設定する。基幹型保育所同士での連携や、基幹型保育所から保育施設に対して情報の共有・助言指導・各種研修等を行うことにより、もって保育の質の維持・向上を図る。			
令和6年度目標			
量的 質的	保育所保育指針に適応した各種研修等、保育の質の維持・向上を図るため、各種事業を実施する。		
	保育の質の維持・向上が図られている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的 質的	現場が求める情報の提供や、保育士等のスキルアップや日々の保育に有効となる研修の実施、市内保育施設同士・関係機関との連携を強化し、保育の質の維持、向上を図る。		
	保育施設従事者同士が交流し、知識や技術の向上に繋がる情報やノウハウを共有できる場を提供し、課題解決や各施設の取組から保育の質の向上を図る。		
令和2年度実績			
量的 質的	<ul style="list-style-type: none"> ・動画研修：2回 資料研修：2回 オンライン研修：2回 計6回 ・保育士連絡会：5歳児クラス対象1回 看護職連絡会：1回 栄養士連絡会：オンライン研修1回 ・心理相談員による巡回相談事業 巡回相談事業：43回 指定相談事業：18回 		
	基幹事業の肝である情報共有を目的とした事業や集合研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により本来の形式で実施することが難しいと言われる中、オンラインや動画配信の活用により開催することが出来た。主には基幹型保育所主催研修、各職種別連絡会、学校訪問、心理相談員による巡回・指定相談等、関係機関との連携も含めた事業である。各事業の開催に向けた事前準備(基幹定例会、講師打ち合わせ等)も、オンラインを活用し実施することができ、情報やノウハウを共有する場の確保ができた。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症により、集合研修や直接学校等へ訪問することが難しい中、全面中止ではなく、オンライン対応や小学校の協力により動画鑑賞の形式等、概ね予定していた事業を実施できたことは、一定の評価になると判断。
	b		
質的	評価	評価理由等	コロナ禍において、予定どおりの事業実施とはいかなかったが、量的実績のとおり事業の実施ができたことは、保育士同士の交流や情報交換する貴重な場の確保であり、今までの保育から感染症対策の徹底等、環境が変化したことで発生した課題等を共有できたことで、市内施設全体が日常を考え保育を考えることにつながったのではと考える。今後の課題は、発足時からの基幹事業について、より現場主体となる内容設定を行って行く必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
14	障害児保育事業		子ども子育て事業課
事業内容			
<p>保育所において、保育に欠け、かつ、心身に障害がある児童を当該障害児のよりよい心身発達と豊かな人間性の育成に資するため、適切な環境のもとで保育が実施できるよう支援する事業である。多様な保育ニーズに対応するため、心身に障害がある児童を受け入れるに当たり、手厚い保育ができるよう、保育士等の加配などに対して補助を行う。</p>			
令和６年度目標			
量的 質的	補助金交付：58件		
	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的 質的	補助金交付：45件		
	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和２年度実績			
量的 質的	補助金交付：52件		
	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、手厚い保育が実施された。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	目標を上回る施設に補助金の交付を行った。
	a		
質的	評価	評価理由等	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、手厚い保育が実施された。引き続き関連施策・事業と連携しながら保育士等の職員の障害に対する知識・技術の向上を図り、障害児保育をより充実させていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	B		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
15	学童保育所整備事業		子ども若者計画課 子ども子育て事業課
事業内容			
<p>【公設】学童保育所が狭隘状況にある第二小学校及び第五小学校区について、子ども・子育て支援事業計画及び新・放課後子ども総合プランに基づき、学校敷地内に「一体型」※の公設学童保育所を新たに整備し、放課後子どもプラン（放課後子供教室）と連携して実施する。令和元年度に設計を実施し、令和2年度に整備工事を行い、令和3年4月1日に開設する。</p> <p>※「一体型」とは、学童保育所と放課後子どもプランを統合（一の事業として行う。）することではなく、現在行われているように、同一の小学校等において両事業が実施され、プログラム等の共有を通じ、学童保育所の児童が放課後子どもプランに参加可能とされているものをいう。</p> <p>【民設】学童保育所の狭隘状況の解消のため、子ども・子育て支援事業計画に基づき民設民営学童保育所を整備する。</p>			
令和6年度目標			
量的	【公設】2箇所（4施設）整備 【民設】子ども・子育て支援事業計画に基づき各年度に整備する。 [一体型の事業量] 8校区（15施設）		
	【公設】学校敷地内に学童保育所を新設し、放課後子どもプラン（放課後子供教室）を一体的に実施することで、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設の学童保育所の狭隘状況が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
質的	【公設】児童が安心・安全に過ごすことができるために必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所を学校敷地内に整備し、教育委員会・学校とも適時調整をしながら、放課後子どもプラン（放課後子供教室）との連携により、多様な体験・活動を行うことができる環境を整える。 【民設】公設の学童保育所の狭隘状況が改善されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
	【公設】児童が安心・安全に過ごすことができるために必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所を学校敷地内に整備した。また、教育委員会・学校とも適時調整を行い、第二小学校内の教室増築棟に併設した学童保育所の隣にある教室を放課後子どもプラン（放課後子供教室）が活用するなど、連携しやすい環境を整えた。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和2年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	【公設】第二小学校及び第五小学校区について、施設の狭隘状況を解消するため、令和元年度に実施した設計内容に基づき、学校敷地内に学童保育所を設置する工事を行い、令和3年4月1日に開設する。 【民設】子ども若者・子育ていきいき計画（第5章子ども・子育て支援事業計画）に基づき、施設整備を行う。（定員40人×2施設）		
	【公設】児童が安心・安全に過ごすことができるために必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所を学校敷地内に整備した。また、教育委員会・学校とも適時調整を行い、第二小学校内の教室増築棟に併設した学童保育所の隣にある教室を放課後子どもプラン（放課後子供教室）が活用するなど、連携しやすい環境を整えた。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和2年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
質的	【公設】児童が安心・安全に過ごすことができるために必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所を学校敷地内に整備した。また、教育委員会・学校とも適時調整を行い、第二小学校内の教室増築棟に併設した学童保育所の隣にある教室を放課後子どもプラン（放課後子供教室）が活用するなど、連携しやすい環境を整えた。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和2年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
	【公設】児童が安心・安全に過ごすことができるために必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所を学校敷地内に整備した。また、教育委員会・学校とも適時調整を行い、第二小学校内の教室増築棟に併設した学童保育所の隣にある教室を放課後子どもプラン（放課後子供教室）が活用するなど、連携しやすい環境を整えた。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和2年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
令和2年度実績			
量的	【公設】学校敷地内に学童保育所を設置する工事を年度内に完了し、以下の学童保育所を令和3年4月1日の開所に向けて、整備を行った。 第二小学校：第三光町学童保育所（定員30名）、第四光町学童保育所（定員30名） 第五小学校：第二日吉町学童保育所（定員35名）、第三日吉町学童保育所（定員35名）【一体型確保量】8校区（15施設） 【民設】子ども若者・子育ていきいき計画（第5章子ども・子育て支援事業計画）に基づき、2施設の民設民営学童保育所を整備し、78人の定員拡充を図った。①キッズクラブ 東元町（定員38人）②学童保育じゃんぶ 東戸倉クラブ（定員40人）		
	【公設】児童が安心・安全に過ごすことができるために必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所を学校敷地内に整備した。また、教育委員会・学校とも適時調整を行い、第二小学校内の教室増築棟に併設した学童保育所の隣にある教室を放課後子どもプラン（放課後子供教室）が活用するなど、連携しやすい環境を整えた。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和2年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	【公設】学童保育所の新設により、第二小学校及び第五小学校区の公設学童保育所の狭あい状況が以下のとおり一定解消したため。 第二小学校区の公設学童の入所状況 総入所者数166名／総定員175名 第五小学校区の公設学童の入所状況 総入所者数100名／総定員126名 【民設】 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成したため。
	a		
質的	評価	評価理由等	【公設】児童が安心・安全に過ごすことができるために必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所を学校敷地内に整備し、また、教育委員会・学校とも適時調整を行い、第二小学校内の教室増築棟に併設した学童保育所の隣にある教室を放課後子どもプランが活用するなど、連携しやすい環境を整えることができたため。今後は、学童保育所と放課後子どもプランとの連携を一層強化していく必要がある。 【民設】令和2年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たっては、公設学童保育所の狭隘状況や今後の見通し等詳細に分析し、募集対象地域を示した上で募集を実施した。また、安全基準に加えて、「登録児童の外遊び・多様な体験ができる環境について」等についても、申込みの際の協議事項とし、運営の質が確保できるよう工夫を図ったため。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番16で実施した講座については、量的・質的実績に記載しているとおり、保護者・子どもともに男性の参加があった。この講座のアンケート結果では、講座内容が高く評価されており、参加者にとって有益な講座となった。

通番17では、職員及び所属長への制度の理解を深めるため、休暇制度の案内の掲示（庁内電子掲示板）や研修での周知、対象者に直接制度活用の勧奨を行ったことにより、目標に掲げる3つの休暇制度については、目標を概ね達成（男性育児休暇取得率については、令和2年度目標を大きく上回って達成）する結果となった。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番16において、男性が家事・育児を担うことへのきっかけづくりとして、市民に対して実施した講座では、量的・質的実績に記載のとおり、保護者・子どもともに男性の参加があり、講座内容についても高く評価された。なお、本講座については、フルタイムで就労する保護者が参加できるよう、土曜日に開催した。

また、通番17において、職員に対して、休暇制度について、庁内電子掲示板への掲載や、新入職員へ向けての研修で扱うことを通して周知を行うことに加えて、子が生まれた男性職員に、男性職員向けの育児休業取得案内文書の配付及び説明を行い、直接育児休業等取得の勧奨を行った。これらの取組により、量的実績に記載しているとおり目標をおおむね達成（男性育児休暇取得率については、令和2年度目標を大きく上回って達成）することができた。

3 施策の進捗状況

順調に進んでいる。

方向性に基づき各事業は実施されており、事業の実施結果も量的・質的ともに目標値を「おおむね達成している」以上の水準となっている。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課	
16	男性が家事・育児に参画するための環境づくり	人権平和課	
事業内容			
男性が積極的に家事・子育て・介護に携わることができるよう、講座の開催などをし、様々なスキルや支援の情報提供を行う。			
令和6年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
質的	男性に対し、仕事と家庭との調和の意識づくりへの情報提供がなされ、定期的に講座が開催されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
質的	男性に対し、仕事と家庭との調和の意識づくりへの情報提供がなされ、定期的に講座が開催されている。		
令和2年度実績			
量的	保護者と子どもを対象とした家事・子育て講座を開催した。保護者・子どもともに男性の参加があった。		
質的	令和元年度の子育て支援講座に続き、令和2年度は保護者と子どもを対象とした家事・子育て講座を催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、定員を削減しての開催となったが、アンケートでは講座内容を高く評価されていることから、参加者にとって有益な講座となった。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和2年度目標のとおり実施したため。
	a		
質的	評価	評価理由等	アンケートでは講座内容を高く評価されており、参加者にとって有益な講座を開催することができたため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
17	特定事業主行動計画の推進及び啓発		職員課
事業内容			
特定事業主行動計画の啓発を行い、働きやすい職場環境の整備を進める事業			
令和6年度目標			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産介護休暇取得率100% ・ 育児参加休暇取得率100% ・ 男性育児休業取得率50% 		
質的	職員向けに休暇制度の周知を年2回程度行い、職員及び所属長の制度への理解を深め、職場環境の改善を進める。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	出産介護休暇については、特定事業主行動計画で取得率100%の目標を掲げている。育児参加休暇についても、対象者すべてが取得することが望ましい。男性の育児休業は、特定事業主行動計画で取得率10%を目標としているため、令和2年度の目標は取得率10%とし、令和6年度目標取得率である50%に向け、令和3年度以降10%ずつ目標取得率を段階的に引き上げていく。		
質的	職員向けに休暇制度の周知を年2回程度行い、職員が制度について十分に理解するなど日常の環境が整備され、働きやすい職場になっている。		
令和2年度実績			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産介護休暇取得率91.7% ・ 育児参加休暇取得率83.3% ・ 男性育児休業取得率41.7% 		
質的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休暇制度について、庁内イントラネット掲示板にて案内し周知を行った。 ・ 新入職員へ向け、新任研修の中で休暇制度の周知を行った。 ・ 子が生まれた男性職員に直接育児休業取得の勧奨を行った。 		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	<p>出産介護休暇及び育児参加休暇取得率について、目標の8割を超えおおむね達成できた。</p> <p>また、男性育児休業取得率については令和2年度の目標値10%を大きく上回って達成している。</p>
	b		
質的	評価	評価理由等	<p>休暇制度の案内を庁内イントラネット掲示板及び新任研修にて周知を図ったことと、子が生まれた男性職員に直接育児休業取得の勧奨を行ったことにより、男性の育児休業取得率について目標の数値を達成することができ、職員及び所属長への制度の理解を深めることができた。</p>
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

イベントや行事等を行う事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各公共施設における閉館により、それ自体の中止（通番21）、実施回数・日数（通番19、通番23、通番24及び通番27）、実施方法（通番20）の見直し等、当初の予定のとおり実施することができなかったものが多かった。これらに加えて、施設の休館や開館時間短縮・利用人数制限から、事業や施設の利用人数が減少（通番21及び通番23）する事業も見られた。

しかし、このような状況にあっても、事業内容のうちの実施可能な部分の実施（通番20）、実施回数・日数等が少ない中でも魅力のある内容・企画とするための工夫（通番19、通番22、通番23、通番24及び通番27）や、行事自体は中止となっても利用したいと思われる環境の整備（通番21）を行い、各事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した上で、事業目標達成のための取組を行った。

また、通番25及び通番26では、子どもが安全・安心して利用できる公園となるよう、市民の意見が反映された設計や遊具の更新を行った。

なお、市内における子どもの居場所に関する周知については、市ホームページ・SNS・作成動画の作成により実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、市内施設に利用制限が生じたため、各事業によるものは別とし、利用可能施設や利用可能時間という物理的な面では、子どもの居場所の確保については難しい状況であった。

2 施策の方向性に係る実施状況

1の記載と重複することになるが、通番19から通番24まで及び通番27においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために様々制約を受ける中、工夫を凝らしつつ、方向性に基づき多様な事業を実施した（通番24では、外国にルーツを持つ子どもが増えてきていることを受けて、外国語標記のチラシを作成し、活用した。）り、環境整備を実施した。

また、通番25では幅広い年代の子どもが遊ぶことができるよう幼児が遊ぶスペースを確保する設計を行い、通番26では遊具の更新を行うことで、方向性に記載のとおり、ハード面での環境整備を進めた。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番22において記載のある室内プールについては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、整理券を活用して利用制限を実施していたが、現地では、整理券を持って利用開始時間を待つ方が、待機場所が混雑してしまっている状態が見受けられた。施設の利用制限をした趣旨からすると、この状況は望ましくないものであることから、インターネットによるシステムを活用した予約手法を導入するなど、待機時間も密を避けることのできるような改善策を検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 児童館においては、中高生が利用しやすいように中高生専用の時間帯が設けられているとのことなので、中高生でも児童館を利用することができることを積極的に周知されたい。
- 令和2年度に移転開園したプレイステーションでは、中高生も活用することができるよう、建物の2階に多目的で利用できる部屋を設けたとのことである。施設の利用制限があったにもかかわらず、移転前の施設と比べると中高生の利用者が増加していることから、中高生の居場所づくりに寄与しているものと考えられる。このことは、「市による評価」に記載するなどにより、実績として周知すべきものと言える。なお、現在は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、建物も含め施設敷地内での飲食が禁止されており、特に遠方から来場する子どもにとっては、昼食を挟んでの利用がしづらい状況となっている。この点については、新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視しつつ、来場した子どもが希望をすれば一日中利用することができる居場所となるよう対策を検討されたい。
- そのほか、国分寺市内には、都立多摩図書館があることから、同図書館との連携により、子どもの居場所の充実が図られることを期待する。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

今後、子どもの居場所づくりを推進していくに当たっては、通番18、通番19及び通番20の質的実績に記載のとおり、新型コロナウイルス感染防止対策と居場所の確保・各種事業の実施をどのように両立していくかを併せて検討していく必要がある。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名	所管課
18	地域の子どもの居場所づくりの推進	子ども若者計画課
事業内容		
地域資源を活用して子どもの居場所づくりを行う。		
令和６年度目標		
量的	市が周知する居場所に関する情報について、全ての市民が把握している。	
質的	子どもが自分らしくいきいきとして過ごせる居場所を確保している。	
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標		
量的	公共施設の運営を行う者に対し、子どもの居場所に関する説明の実施（市内の全ての公共施設に対して）。市民に対し、ホームページその他の媒体により、市内の子どもの居場所に関する情報が周知されている。	
質的	子どもが自分らしくいきいきとして過ごせる居場所を確保している。	
令和２年度実績		
量的	説明会の実施には至らなかったが、公共施設の運営を行うものが出席した子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、市内の子どもの居場所についての情報交換・共有を図った。市ホームページやツイッター、子どもの居場所施設に関する動画を制作し、子どもの居場所に関する周知を図った。	
質的	量的実績にあるように、子どもの居場所に関する情報の周知を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、市内各施設の利用制限などがあり、全ての子どもの居場所の確保にまでは至っていない。	
令和２年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 b	評価理由等 市ホームページやツイッター、子どもの居場所施設に関する動画の制作、子どもの居場所づくり関係者懇談会の実施により、子どもの居場所に関する情報発信・周知が図られたため。
質的	評価 b	評価理由等 子どもの居場所に関する情報の周知を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、市内各施設の利用制限などがあり、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内各施設の利用制限、事業や行事の中止が相次いだが、感染拡大防止対策を講じた上で可能な限り、居場所の提供に努めた。また、新型コロナウイルス感染症による新しい行動様式を踏まえた子どもの居場所の在り方を改めて検討する必要があるため、目標を達成したとの評価をしなかった。
結果	評価	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	B	B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。 C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
19	子ども対象事業		公民館課
事業内容			
子どもたちが自ら公民館に興味を持ち、集うように、芸術、文化、科学、スポーツなどあらゆる分野の学びの機会を提供する。			
令和6年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で25事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で10事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和2年度実績			
量的	企画事業数：14 実施事業数：7		
質的	平均満足度96.1%		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策により施設自体が休館になったり、事業の中止や延期をしなければならなくなり、実施事業数が限られたが、そうした状況下において、工夫をして可能な限り事業の実施を行った。 感染症対策と「居場所作り」をどのように両立させるのか、今後検討していく必要がある。
	c		
質的	評価	評価理由等	実施した事業については、参加者から高い満足度が得られた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
	B		C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名	所管課	
20	子ども活躍の場の創出	図書館課	
事業内容			
図書館が子どもたちの居場所となるよう、子ども本人が参加することのできる事業を実施する。			
令和６年度目標			
量的	市内２か所の図書館での実施		
質的	図書館が子どもたちの自主活動拠点の居場所となり、子どもたちが事業を企画・運営し、発表している。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	並木図書館で実施		
質的	参加型事業として並木公民館まつりや子どもまつりでワークショップを開催し、成果品を図書館で展示する。また、国分寺市立第五中学校図書委員会と連携して、共同で図書リストの作成やポップ作成等を実施し、関連本は図書館と学校で展示を行う。これらの取組を通じて、子どもたちと図書館の交流を行っていき、図書館が子どもたちの居場所となるように事業が実施されている。		
令和２年度実績			
量的	並木図書館で実施		
質的	並木公民館まつり等が新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となったため、１日図書館員の実施をし、６名の参加があった。 また、国分寺市立第五中学校の司書を通して生徒におすすめ本のアンケートを取り、それに基づいておすすめ本のポップ作成と展示を行った。 図書館が子どもたちの居場所となるよう、子どもたちと図書館の交流を行った。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和６年度目標達成に向け、並木図書館で実施を行うという目標を達成できたため。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大のため、並木公民館まつり等は中止となったが、感染症拡大防止対策を行った上で、人数を制限し１日図書館員の実施を行い子どもたちとの交流を行うことができた。また、国分寺市立第五中学校図書委員会との連携については新型コロナウイルス感染症拡大により、メール等を利用して行ったため、この事業による物理的な居場所の確保は困難であったが、感染症拡大対策を行ったうえで事業を実施した。今後は、感染拡大防止対策を行ったうえでどのように実施していくかを検討していく必要がある。
	c		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	B		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
21	児童館における行事の充実		子ども子育て事業課
事業内容			
児童館において、事業の充実や施設のPRに努め、子どもたちが安全に安心して過ごせる居場所として、乳幼児期、児童期及び思春期の発達段階に応じた子どもたちの健全な遊びや日常の生活を支援するとともに、各年齢や発達段階等に応じた様々な行事等を実施し、子どもたちの健全育成を進める。			
令和6年度目標			
量的	全児童館延べ来館者数：173,880人 全児童館行事実施回数：1,100回		
	各児童館において、事業の充実や施設のPRがなされ、各年齢や発達段階等に応じた様々な企画が実施されている。		
質的	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、可能な限り施設のPRや企画を実施する。		
	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、可能な限り施設のPRや企画を実施する。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	全児童館延べ来館者数：60,000人 全児童館行事実施回数：220回		
	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、可能な限り施設のPRや企画を実施する。		
質的	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、可能な限り施設のPRや企画を実施する。		
	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、可能な限り施設のPRや企画を実施する。		
令和2年度実績			
量的	全児童館延べ来館者数：66,850人 全児童館行事実施回数：0回		
	新型コロナウイルス感染症の影響で行事の中止が相次いだが、各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、日々の利用を充実していくために各年齢や発達段階に応じた遊具や活動の場の提供を行った。また、児童館のPRのため、動画制作にも取り組んだ。		
質的	新型コロナウイルス感染症の影響で行事の中止が相次いだが、各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、日々の利用を充実していくために各年齢や発達段階に応じた遊具や活動の場の提供を行った。また、児童館のPRのため、動画制作にも取り組んだ。		
	新型コロナウイルス感染症の影響で行事の中止が相次いだが、各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、日々の利用を充実していくために各年齢や発達段階に応じた遊具や活動の場の提供を行った。また、児童館のPRのため、動画制作にも取り組んだ。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策のため児童館が閉館していた期間があったが、来館者数は目標値を達成した。感染症対策をしっかりと行いながら、子どもたちが安全に安心して過ごせる居場所として開館していく。
	a		
質的	評価	評価理由等	児童館の行事は新型コロナウイルス感染症の影響で制限され、事業や行事の中止が相次いだが、行事ができない中で日々の利用を充実していくために、おもちゃを入れ替えたり季節に応じた製作など取り入れたりしながら利用したい児童館になるように努めた。また、児童館のPRのため、動画制作にも取り組んだ。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
22	スポーツセンター，プールの個人開放		スポーツ振興課
事業内容			
スポーツセンター，プール等を個人に開放し，多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供する事業。これにより，生涯スポーツ社会の実現を目指す。			
令和6年度目標			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用する中学生以下の人数：16,800人		
質的	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用する中学生以下の人数：16,800人		
質的	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
令和2年度実績			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用する中学生以下の人数：9,133人		
質的	バスケットボールやバドミントン，親子プレイルームなど子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実していた。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，施設の休館や時間短縮，利用人数制限により，利用機会が減ってしまった。そのため利用人数が少なかった。
	c		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，利用機会の減少や利用人数制限などを行ったが，各施設で様々な種類の個人開放を実施した。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
23	国分寺市プレイステーション事業		子ども子育て事業課
事業内容			
乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場・居場所として、国分寺市プレイステーションを運営する。			
令和6年度目標			
量的	年間来場者数：15,000人		
	乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	年間来場者数：11,000人		
	乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供できている。		
令和2年度実績			
量的	年間来場者数：18,984人		
	新型コロナウイルスの影響により、臨時休園等利用できない期間はあったが、乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供できた。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和6年度目標である年間来場者数15,000人を上回ったため。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルスの影響により、遊びや活動の内容に一定の制限があったものの、アンケートによる利用者満足度は高く、令和2年度の目標は達成したものと評価した。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課	
24	こくぶんじ青空ひろば	子ども子育て事業課	
事業内容			
市内の公園を活用し、児童へ安心して過ごすことのできる遊びの場を提供する。			
令和6年度目標			
量的	6公園		
質的	児童の放課後の居場所として、公園を活用した遊びの場が提供できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	5公園		
質的	児童の放課後の居場所として、公園を活用した遊びの場が提供できる。		
令和2年度実績			
量的	5公園		
質的	新型コロナウイルス感染症対策のため約3か月間事業中止となったが、その間はポストを設置し利用者の声の聞き取りを行った。放課後遊びを控える家庭もあり、小学生以上の利用者数は少なかった。安心して利用できるよう感染症対策を行い、遊びの提供も工夫して事業を実施した。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和2年度は、5公園において開催してきた。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響で、小中学生の利用者数は減少している。感染症対策を講じた上で実施し、ひろばにスタッフが常駐した中で安心して参加できる遊び場所として提供した。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課	
25	公園・緑地の整備	緑と建築課	
事業内容			
公園・緑地の整備を行い、子どもを含む利用者が遊べる場を拡充する事業			
令和6年度目標			
量的	都市公園1か所の開園		
質的	市民が憩える場を整備し、子どもたちが安心・安全に過ごせる場所が増えている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	令和2年度から3年度までは、「内藤さつき公園」の拡大整備を行い令和4年度に都市公園の開園をする。令和4年度から6年度までは、「戸倉公園」の新設整備を行い令和7年度に都市公園の開園を目指す。 令和2年度については、「内藤さつき公園」の設計を行う。		
質的	市民の意見を聴くための懇談会を3回開催し、市民目線の憩える場、子どもたちが安心・安全に過ごせる場所となる設計とする。		
令和2年度実績			
量的	「内藤さつき公園」の拡大のための設計を実施した。		
質的	市民懇談会：3回，市民説明会：3回を行い，多くの意見を聴き，より市民に望まれるような公園にするための設計を行った。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	設計を行った。
	a		
質的	評価	評価理由等	市民からの意見の全てを取り入れることは難しいが，市民が憩えるような公園となるよう計6回の市民との対話を重ね様々な意見を聴いて，一つ一つ検証して設計を行った。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課
26	遊具の更新	緑と建築課
事業内容		
「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、遊具の更新をする事業		
令和6年度目標		
量的	令和2年度から延べ183公園の遊具を更新する。	
質的	老朽化した遊具を更新することで、子どもたちが安全・安心に利用できている。	
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標		
量的	「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、25公園の遊具更新を実施する。	
質的	老朽化し、劣化が進行している遊具を更新することで、子どもたちが安全・安心に利用できている。	
令和2年度実績		
量的	「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、9公園の遊具更新を実施した。	
質的	老朽化し、劣化が進行している遊具を更新することで子どもたちが安全・安心に利用できている。	
令和2年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 c	評価理由等 目標数を下回ったため。なお、毎年実施の遊具点検に基づき、令和2年度の目標更新公園数25公園について点検を行い、うち16公園は点検結果がAまたはB（全体的に健全）であり、C判定（全体的に劣化が進行している）以下となった9公園の更新を実施した。
質的	評価 a	評価理由等 遊具点検結果に基づく遊具更新により、危険な遊具がない状態にできているため。
結果	評価	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B	B: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
		C: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
		※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課
27	放課後子どもプラン	社会教育課
事業内容		
文部科学省の「放課後子供教室」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」との連携事業。地域・学校・行政の連携による学校等を利用した安全で安心な子どもの居場所づくりを行う。		
令和6年度目標		
量的	市内全市立小学校10校で計1,700日以上実施	
質的	子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供している。	
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標		
量的	市内全市立小学校10校で計1,500日実施。	
質的	子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供している。	
令和2年度実績		
量的	市内全市立小学校10校で計576日実施。 新型コロナウイルス感染症の影響により、主に9月から12月の期間で実施した。	
質的	子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供した。新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策をしたうえで実施可能であった、主に9月から12月の期間で実施した。	
令和2年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 c	評価理由等 新型コロナウイルス感染拡大のため実施を見合わせた期間があったが、手洗いや消毒の徹底等、接触感染や飛沫感染対策を行い、全校で放課後子どもプランを実施することができたため。
質的	評価 b	評価理由等 感染拡大防止のため、企画内容に一定の制限はあったが、コロナ禍でもできる、子どもにとって魅力的な企画を実施し、居場所を提供することができたため。
結果	評価	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
		B: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
	B	C: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
		※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番29及び通番31については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためイベントが実施できなかったことや、自主防犯活動が控えられたことから、目標の達成が困難となった。しかし、通番29については、イベントの実施に代えて市報やホームページ等様々な媒体を活用し、当該事業の目的である交通マナー及びルールへの周知を行った。通番31については、活動を控える自主防犯活動団体はあったものの、防犯パトロール自体は行われた。また、防災行政無線を活用した下校時の見守り放送を実施した。

上記事業以外の交通安全関係事業（通番28及び通番30）、防犯対策関係事業（通番32）及び環境調査・対策関係事業（通番33から通番36）については、量的・質的目標ともに「おおむね達成した」以上の水準であった。

2 施策の方向性に係る実施状況

子どもや乳幼児等の親子連れに対する交通面での安全性確保のための交通安全設備の設置、道路交通環境の整備及び交通安全学習については、**1**に記載のとおり、通番29でイベントが中止となったことを除き、方向性に基づき各事業が実施された。

安全なまちづくりに向けた体制の確保についても、一部自主防犯活動が控えられたことを除き、方向性に基づき事業が実施された。なお、通番31では、自主防犯活動団体や地域防犯パトロール協力事業者による防犯パトロールを推進するため、防犯講話での周知、防犯用品の支給を実施した。

子どもを取り巻く生活環境の安全確保のために実施している各種生活環境調査については、各事業の目標どおり各種調査が実施されており、また実施結果においても安全性が確認されている。

3 施策の進捗状況

順調に進んでいる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため実施できなかったことや活動が控えられたこともあるが、当該事業については、目的達成のための代替措置や活動推進策が取られていた。その他の事業については、方向性に基づき事業が実施されており、量的・質的目標ともに「おおむね達成した」以上の水準であった。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番31について、その実績が量的・質的ともに「c」であったが、子どもの見守りの担い手の確保という課題に対して、無償ボランティアのみではなく、有償ボランティアの導入、NPO団体の活動支援を行う等の事業展開を提案する。また、IoTを活用して子どもの見守りを実施している自治体の取組なども参考とされたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課
28	安全設備の設置	道路管理課
事業内容		
道路照明灯，道路区画線等の交通安全施設を整備することにより，交通危険箇所を解消し，交通事故の防止を図る。		
令和6年度目標		
量的	基準に基づき，優先順位をつけて設置	
質的	適正な場所に交通安全設備が設置され，子どもとその保護者を含めた市民の安全が守られている。	
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標		
量的	基準に基づき，優先順位をつけて設置	
質的	適正な場所に交通安全設備を設置し，交通危険箇所を解消し，交通事故の防止を図ることで，子どもとその保護者を含めた市民の安全が守られている。	
令和2年度実績		
量的	道路区画線等路面表示の修繕：4,538千円 道路反射鏡等修繕：66基2,891千円 道路照明灯修繕：96件7,318千円 道路反射鏡新設工事：7基1,240千円 街灯の修繕：102件5,431千円 LED灯新設工事：416千円	
質的	基準に基づき，優先順位をつけて設置。また，破損等に対しては速やかな修繕を行い，市民の安全が守られたと考える。	
令和2年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 a	評価理由等 優先順位をつけて設置したことにより，交通危険箇所を解消し，効果的に交通事故の防止につながるよう改善できた。
質的	評価 a	評価理由等 通学路点検等で要望のあがった危険箇所に対して，区画線の設置，修繕等の対策を行った。また，街灯のLED化を含め交通安全設備全般の整備を推進したことで，より子どもたちが安全かつ過ごしやすい道路環境づくりを進めた。
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A	B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。 ※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
29	交通安全運動市民のつどいの開催		交通対策課
事業内容			
交通安全運動市民のつどいを開催し、交通安全に対する周知を行う。			
令和6年度目標			
量的	交通安全運動市民のつどいを年2回開催する。		
質的	交通安全を周知する事業として、交通安全運動市民のつどいを開催することで、交通マナー及びルールの周知を図る。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	交通安全運動市民のつどいを年2回開催する。		
質的	交通安全を周知する事業として、交通安全運動市民のつどいを開催することで、交通マナー及びルールの周知を図る。		
令和2年度実績			
量的	新型コロナウイルス感染症の影響により、交通安全運動市民のつどいは開催中止となったが、市報や市ホームページ、ツイッター、デジタルサイネージ等にて交通安全に関する情報の周知を行った。		
質的	量的実績にもあるようにイベント開催の代わりに広報媒体を活用し、交通安全に関する情報を発信することで、交通マナー及びルールの周知を図った。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民のつどいは2回とも開催中止となったため。代替策として広報媒体を活用し、交通安全に関する情報発信をすることで、交通マナー及びルールの周知活動を実施した。
	c		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民のつどいを含む様々なイベントが開催中止となり、交通マナー及びルールの周知をする機会がなくなったため。しかし、代替策として、市報や市ホームページ等様々な広報媒体を活用し、交通マナー及びルールの周知した。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
	B		C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名	所管課	
30	交通安全教室の開催	交通対策課	
事業内容			
中学生等を対象としたスケアードストレイト方式の交通安全教室を開催する。			
令和６年度目標			
量的	交通安全教室を年に２回市立の中学校等で開催する。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を伝えるとともに、交通安全意識を高める。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	市立中学（市内都立高校）在学時に一度は交通安全教室を受講できるように、毎年２校ずつ実施していく。令和２年度は、交通安全教室を第三中学校と国分寺高校にて開催する。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を伝えるとともに、交通安全意識を高める。		
令和２年度実績			
量的	交通安全教室を第三中学校と国分寺高校にて各１回、合計２回開催した。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を伝えるとともに、交通安全意識を高めることができた。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	交通安全教室を第三中学校と国分寺高校にて開催することができたため。
	a		
質的	評価	評価理由等	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を伝えられたことから、交通安全意識を高めることにつながったと考えているため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	A		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
31	自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施		防災安全課
事業内容			
子どもたちの安全確保など防犯対策のため、防犯リーダー養成講習会を修了し、地域の自主防犯の中心として活動する市民が属する自主防犯活動団体や地域防犯パトロール協力事業者による防犯パトロール及び登校時や子どもの見守り放送を受けての下校時の見守り活動など防犯活動の実施を推進する。			
令和６年度目標			
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：56団体 協力事業者数：23事業者		
	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。		
質的	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：48団体 協力事業者数：19事業者		
	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。		
質的	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で防犯活動を実施したが、自主防犯活動団体においては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控える団体もあった。		
令和２年度実績			
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：38団体 協力事業者数：16事業者		
	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で防犯活動を実施したが、自主防犯活動団体においては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控える団体もあった。		
質的	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で防犯活動を実施したが、自主防犯活動団体においては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控える団体もあった。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和２年度の目標を達成しなかったため。
	C		
質的	評価	評価理由等	コロナ禍のため、主な自主防犯活動団体である自治会・町会の活動が停滞し、周知や防犯用品の支給が進まなかった。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	C		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
32	事件情報等の迅速な提供		防災安全課
事業内容			
事前に登録した市民等に不審者や事件情報等を電子メールで迅速に配信する。			
令和6年度目標			
量的	登録数：21,000件		
	質的		
市民等に事件情報等を迅速に提供する。			
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	登録数：19,000件		
	質的		
市民等に事件情報等を迅速に提供する。			
令和2年度実績			
量的	登録数：20,116件（前年比353件増）		
	質的		
市民等に事件情報等を迅速に提供した。			
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	防犯講座等でメール配信の登録方法を記載したチラシを配布し周知を行った結果、新たな登録者があり、令和2年度目標を達成したため。
	a		
質的	評価	評価理由等	特段の理由がある場合を除き、迅速に配信作業を行ったため。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
33	水質分析等調査		環境対策課
事業内容			
安全な河川等の水質調査として野川水質分析，湧水分析，野川水生生物，井戸水水質などの調査・分析を実施する。			
令和6年度目標			
量的	水質：年1回3地点 湧水：年7回2地点 水生生物：年1回1地点 井戸水：年1回20地点		
質的	潤いと安らぎを与える水辺環境を守り，子どもたちが水に関する文化や知識を深めることができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	野川水質分析：年7回3地点 湧水・池水水質分析：年6回4地点（姿見の池は年1回） 水生生物分析：年1回1地点 井戸水水質分析：年1回20地点		
質的	潤いと安らぎを与える水辺環境を守るため，水質の調査・分析を実施し，子どもたちが水に関する文化や知識を深めることができている。		
令和2年度実績			
量的	野川水質分析：年7回3地点 湧水・池水水質分析：年6回4地点（姿見の池は年1回） 水生生物分析：年1回1地点 井戸水水質分析：年1回20地点 井戸水の有機フッ素化合物の調査・分析：年1回6地点		
質的	水辺環境を守るため，調査・分析を行った。結果について，井戸水調査の2か所を除き，参考基準以下であることを確認した。 子どもが安全に触れられる水辺環境を整えることで，子どもたちが水に関する文化や知識を深めることにつながっていると考える。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標どおりの地点・回数において調査・分析を実施したことに加え，井戸水の有機フッ素化合物の調査・分析を行った。
	a		
質的	評価	評価理由等	子どもを取り巻く生活環境が安全に保たれるよう，水質の調査・分析を行い，安全性を把握した。子どもたちが水に関する文化や知識を深めることにつながっていると考える。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

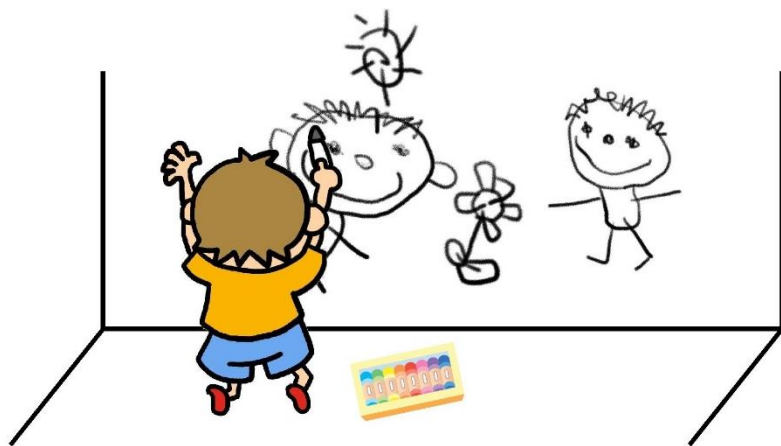
通番	事業名		所管課
34	大気環境分析等調査		環境対策課
事業内容			
児童が通園・通学に利用する幹線道路沿線の大気調査，自動車排気ガス測定，自動車騒音・振動・交通量及び酸性雨等の調査を実施する。			
令和6年度目標			
量的	大気，排気ガス，騒音・振動：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	大気環境調査（自動車排気ガス），騒音・振動調査：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	大気環境や騒音等について調査を実施し，状況を把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和2年度実績			
量的	大気環境調査（自動車排気ガス），騒音・振動調査：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	大気環境や騒音等の調査において，環境基準以下であることを確認した。このことから，子どもが安全・安心して通園，通学ができていますと考える。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	a		
質的	評価	評価理由等	大気環境や騒音等の状況を把握し，安全性を確認することにより，子どもが安全・安心して通園，通学できる生活環境が担保されているものとする。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
35	ダイオキシン類調査		環境対策課
事業内容			
人体に有害な物質，ダイオキシンについて，学校，公園で隔年において大気，土壌の調査を実施する。			
令和6年度目標			
量的	調査・分析実施回数：1回		
	公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	大気環境中のダイオキシン類測定：年1回4地点（小中学校）		
	有害な物質であるダイオキシン類の状況を把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できている。		
令和2年度実績			
量的	大気環境中のダイオキシン類測定：年1回4地点		
	ダイオキシン類の調査・分析の結果，すべての地点において環境基準以下であることを確認した。このことから，子どもが安全・安心して生活できていると考える。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	a		
質的	評価	評価理由等	調査・分析の結果，すべての地点において環境基準以下であることを確認した。ダイオキシン類調査を行い，安全性を確認することにより，子どもの安全・安心な生活が担保されるものとする。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
36	放射能対策		環境対策課
事業内容			
空間放射線量，給食食品等の放射性物質濃度，プール水・親水施設等の水の放射線物質濃度等の測定を実施する。			
令和6年度目標			
量的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づく測定の実施。		
	公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づく測定の実施。		
	空間放射線量や給食食品等の放射性物質濃度，プール水・親水施設等の水の放射線物質濃度を把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和2年度実績			
量的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づき，空間放射線量の測定，給食食材，プール水等の放射性物質濃度測定を行った。		
	空間放射線量や給食食品等の放射性物質濃度，プール水・親水施設等の水の放射線物質濃度の調査結果について，基準値以下であることを確認した。このことから，子どもの安全・安心な通園・通学につながっていると考える。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づいた測定を行うことができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	測定結果については，空間放射線量及び給食食材，プール水・親水施設等の放射性物質濃度ともに基準値以下であることを確認した。各種項目の測定を行い，安全性を確認することにより，子どもの安全・安心な通園・通学が担保されると考える。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様



国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流・相談の場を提供する事業や対面により支援サービス（保育等を含む。）を提供する事業の多くが、中止（全部又は一部の中止、イベントの中止等）となり、当初の予定どおり実施することが困難となった（通番37、通番38及び通番42）。また、同ウイルスの影響により利用者数が減少してしまったものもあった（通番37、通番39及び通番41）。しかし、これらの事業においては、コロナ禍であっても利用しやすいように予約制や電話相談可とする対応（通番38）をとったことや、希望する市民がサービスを利用できるよう体制の維持・質の向上を図る取組（通番39）を行ったことなどにより、必要としている市民が各種サービスの提供を受けることができている。

通番45を除く上記以外の事業（通番40、通番43、通番44及び通番46）については、量的・質的目標ともに「おおむね達成した」以上の水準となっている。

2 施策の方向性に係る実施状況

交流事業については、妊娠中の方や子育て中の保護者が身近なところで気軽に交流できるよう、通番37及び通番42において、その機会や場所の提供を行った（通番42では、質的実績に記載のとおり、保護者同士だけでなく、子ども同士の新しい関係づくりにもつながった。）。

相談事業については、各事業を実施していく中で、通番37では一人ひとりが状況に応じて相談でき、悩みを軽減できるよう様々な取組（子育て応援パートナーや助産師による巡回相談等）を実施した。また、通番44では、相談支援事業を実施するに当たり、相談者のニーズを的確に把握するように努めるとともに、個々のケースに必要な支援の組み立てについて、関係機関と連携しつつ的確な情報提供を行うように努めた。なお、通番38を利用した方で支援が必要な方については、地区保健師につなぎ、子育て世代包括支援センター事業を中心として、庁内各課や関係機関とともに連携しながら支援を行った。

保育サービスについては、多様な保育ニーズに対応するため、通番39から通番42までの事業において、各種サービスを提供した。その中で、通番39においては、新たな施設開設（令和3年12月予定）に向けた協議を進めることができた。しかし、通番41では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ファミリー・サポート・センター事業の周知が十分に行えなかった。また、援助会員増加のための講習会を開催したが、退会される方もおり、援助会員の増加には至らなかった。

障害のある子どもへの支援については、国分寺市障害者地域自立支援協議会（専門部会及び作業部会を含む。）において地域課題等の協議・検討を行う中で、相談支援事業所連絡会において、障害のある子どもの事例や障害児から障害者への転換について検討を行うなど、心身に障害のある子ども一人ひとりに応じた適切な支援を進めた。また、こどもの発達センターつくしんぼでは、医療・福祉・教育などの関係機関との連携の上で、心理相談、専門相談などの各種相談事業において事業を実施した。

医療費等の経済的支援については、市報や転入者向けのチラシ配付により、手続漏れが生じないよう事業の周知を行った。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番41については、量的目標は数値化しづらいとされているが、事業を進捗管理するための評価を行うに当たっては、目標の設定は必要なものである。一定数のニーズがある事業であると考えられるため、目標値の設定について検討されたい。
- 通番41に掲げる各事業のうち、ファミリー・サポート・センター事業については、本計画133ページに記載の実績値をみると、平成27年度から延べ利用人数が減少している。新型コロナウイルス感染症の影響にとどまらず、事業の仕組みとして利用しづらい部分があるように見受けられるため、利用者アンケートを実施するなど、より利用しやすい事業となるよう改善策を検討されたい。
- 通番45については、令和2年度に実施できなかった関係部署等を交えた会議を令和6年度目標達成に向け、適切な時期に実施されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

本施策に掲げられている重点事業や施策の方向性の実施状況から、このとおりと判断するが、通番39における手続の簡素化、通番41のファミリー・サポート・センター事業における利用会員及び援助会員の増加に向けた取組、通番45の施設整備については、令和6年度の目標達成又は方向性に基づく体制整備をすることができるよう事業実施所管課において検討等を進めていく必要がある。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
37	親子ひろば事業の充実		子育て相談室
事業内容			
地域の中で孤立しがちな乳幼児とその保護者及び妊婦に対して、安心して立ち寄り、遊びと交流ができる場所と機会を提供するとともに、子育てについての相談を受けることや、情報の提供、助言その他の援助を行う。			
令和6年度目標			
量的	親子ひろば12か所のうち地域子育て支援拠点事業実施箇所9か所		
質的	身近で気軽に子育てに関する相談に応じられる場となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	親子ひろば事業実施場所12カ所中、地域子育て支援拠点事業8カ所		
質的	身近で気軽に子育てに関する相談に応じられる場となっている。		
令和2年度実績			
量的	親子ひろば事業実施場所12カ所中、地域子育て支援拠点事業8カ所		
質的	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、事業休止、イベントや講座が中止になったため、ホームページやツイッター、公園の掲示板などを活用し、事業の周知に努めたが、利用者数は減少した。身近で気軽に相談に応じられる場として、十分な活用には至っていない。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	量的目標のとおり、目標値を達成できた。
	a		
質的	評価	評価理由等	親子ひろば事業を週5日実施している場所については2箇所から4箇所と拡充し、身近な場所で子どもと保護者が相互に交流できる場所を提供したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、6月15日まで事業を休止したこと、また再開後も時間及び人数制限等を設けたことにより、利用人数が減少し、身近で気軽に子育てに関する相談に応じられる場として十分な活用には至っていないと考える。
	c		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
38	乳幼児母性健康相談 (保健センターミニ相談会含む)		健康推進課
事業内容			
乳幼児の発育・発達の観察，保護者の育児不安を軽減することによって，母子の健康保持・増進を図る。			
令和6年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
質的	身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
質的	新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら安心して身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができている。		
令和2年度実績			
量的	乳幼児母性健康相談：7回実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回中止)，来所者数194人(延べ) 保健センターミニ相談会：15回実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5回中止)，来所者数71人(延べ)		
質的	市民が安心して相談に来れるよう新型コロナウイルス感染症対策として予約制で実施した。また，電話での相談も可能とし，ニーズに応じた個別対応を実施した。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和2年度実績にあるように，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした回があるため。
	c		
質的	評価	評価理由等	令和2年度実績にあるように，新型コロナウイルス感染症対策として予約制にした。感染対策をしながら，育児不安を解消に向けた相談事業が実施できたため，目標達成とする。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
39	病児・病後児保育事務事業		子ども子育てサービス課
事業内容			
病後児保育事業は保育施設に入所している児童の病気の回復期に集団保育を受けることが困難な場合に児童を一時的に預かる事業である。 また病氣中に自宅保育が困難な場合に実施する事業が病児保育事業である。			
令和6年度目標			
量的	5施設(22人 内7人)		
	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続きが簡略化されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	4施設(18人 内3人) 都立小児総合医療センターにおける、国分寺市・府中市・国立市に在住の子どもが利用できる病児・病後児保育施設の開設(令和3年12月予定)に向けて、東京都・都立小児総合医療センター・関係3市で協議を進める。		
	従事する職員が研修を受講することにより質の高い病児・病後児保育が実施され、手続きが簡略化されている。		
令和2年度実績			
量的	4施設(18人 内3人) 都立小児総合医療センターにおける、国分寺市・府中市・国立市に在住の子どもが利用できる病児・病後児保育施設の開設(令和3年12月予定)に向けて、東京都・都立小児総合医療センター・関係3市で協議を行った。		
	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用は激減したが、従事する職員が研修を受講することにより質の高い病児・病後児保育を実施した。病児・病後児保育保護者負担金の支払いについては、電子決済等の検討も行ったが、システム改修費が高額であり、現状では対応が困難となっている。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	既存の4施設で事業を実施したほか、定員拡充のため、都立小児総合医療センター病児・病後児保育室の開設に向けた協議が順調に進められたため。
	a		
質的	評価	評価理由等	従事する職員が研修を受講することにより質の高い保育は行うことができたが、電子決済等の導入見送りにより手続きの簡素化には至らなかったため。
	c		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
40	障害児保育事業		子ども子育て事業課
事業内容			
<p>保育所において、保育に欠け、かつ、心身に障害がある児童を当該障害児のよりよい心身発達と豊かな人間性の育成に資するため、適切な環境のもとで保育が実施できるよう支援する事業である。各保育所が、心身に障害がある児童を受け入れるに当たり、適切な環境・体制を整えるため、保育士等の加配などに対して補助を行う。</p>			
令和6年度目標			
量的	受入施設数：26施設		
	質的		
職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。			
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	受入施設数：18施設		
	質的		
職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。			
令和2年度実績			
量的	受入施設数：20施設		
	質的		
職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、手厚い保育が実施された。			
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標を上回る施設が受け入れを行った。
	a		
質的	評価	評価理由等	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、手厚い保育が実施された。引き続き関連施策・事業と連携しながら保育士等の職員の障害に対する知識・技術の向上を図り、障害児保育をより充実させていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課
41	支援ニーズに応じたサービス提供の充実	子育て相談室
事業内容		
ファミリー・サポート・センター事業，育児支援ヘルパー，ひとり親家庭ホームヘルプサービス，ショートステイの4サービスについて，必要とする方の支援ニーズに応じたサービスの周知及び提供を行う。		
令和6年度目標		
量的	事業評価は数値化しづらい。	
質的	必要としている市民が利用している。	
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標		
量的	事業評価は数値化しづらい。	
質的	必要としている市民が利用している。	
令和2年度実績		
量的	・ファミリー・サポート・センター事業 利用件数 3,328件 ・育児支援ヘルパー 利用世帯 96世帯，利用回数1,365回 ・ひとり親家庭ホームヘルプサービス 利用世帯 16世帯，利用回数 321回 ・ショートステイ 利用人数 8人，利用日数 26日	
質的	4サービスのいずれも，利用者・利用時間ともに減少したが，サービスを必要とする家庭に対して，子どもと保護者の安心・安全な生活が送れるようサービスを提供することができた。	
令和2年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 b	評価理由等 数値化した事業評価はしづらいが，新型コロナウイルス感染症の影響もあり，前年に比べ，各サービスとも利用回数・件数は減っている。
質的	評価 b	評価理由等 必要としている家庭に対して，必要なサービスを利用していただくことはできたため。 ファミリー・サポート・センター事業については，会員の増加はしていないため，今後必要量を担保するだけの体制の確保が課題である。
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B	B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。 ※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
42	公民館保育室事業		公民館課
事業内容			
就学前の子どもがいる親の学習活動を支援するため、保育・託児付の事業を実施する。 また、公民館で活動するグループの学習活動を支援するため、グループ活動に合わせた保育を実施する。			
令和6年度目標			
量的	実施事業数：20事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い子を持つ親の学習権を保障し、落ち着いて学習する環境をつくることができている。 ・ 幼い子を持つ親が学習活動を通じ、地域の中で仲間をつくる機会を持つことができている。 ・ 保育室に預けられた子どもも地域でともに育つ仲間づくりができている。 		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	実施事業数：10事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い子を持つ親の学習権を保障し、落ち着いて学習する環境をつくることができている。 ・ 幼い子を持つ親が学習活動を通じ、地域の中で仲間をつくる機会を持つことができている。 ・ 保育室に預けられた子どもも地域でともに育つ仲間づくりができている。 		
令和2年度実績			
量的	実施事業数：9事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い子を持つ親の学習権を保障し、落ち着いて学習する環境をつくることができている。 ・ 幼い子を持つ親が学習活動を通じ、地域の中で仲間をつくる機会を持つことができている。 ・ 保育室に預けられた子どもも地域でともに育つ仲間づくりができている。 		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	年度当初に計画した、事業についてはほぼ実施することができたが、回数については新型コロナウイルス感染症のため、やや少なくなってしまった。
	b		
質的	評価	評価理由等	託児付きの講座を実施することによって親が落ち着いて学ぶ機会を提供することができた。また、親同士、子ども同士の新しい関係作りにもつながった。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
43	障害児支援の提供体制の整備		障害福祉課
事業内容			
地域支援体制を構築するとともに、児童のライフステージに応じた切れ目のない支援と、保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等と連携した支援を提供する体制を整備する。			
令和6年度目標			
量的	児童福祉法に基づく障害のある子どもが通所により利用できるサービスの各年度末月における月間の利用見込数 ※障害児福祉計画による		
質的	主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保とともに、医療的ケア児支援の協議の場が設置されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	児童発達支援：107人 放課後等デイサービス：211人 児童福祉法に基づく障害のある子どもが通所により利用できるサービスの令和2年度末月における月間の利用人数 ※障害児福祉計画による		
質的	医療的ケア児支援の協議の場を設置する。また、主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保に向けて事業者へ周知を行う。		
令和2年度実績			
量的	児童発達支援：140人 放課後等デイサービス：242人 児童福祉法に基づく障害のある子どもが通所により利用できるサービスの令和2年度末月における月間の利用人数 ※障害児福祉計画による		
質的	医療的ケア児支援の協議の場として、国分寺市医療的ケア児支援関係者会議を設置し第1回会議を開催した。また、主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所が市内に1箇所開設された。主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の確保については事業所連絡会等で周知を行った。		
量的	評価	評価理由等	市内及び近隣市での事業所開設が進み、実績人数は目標を大幅に上回っている。今後も引き続き、障害のある子どもが必要な支援を受けられるよう、環境整備を進めていく必要がある。
	a		
質的	評価	評価理由等	第1回国分寺市医療的ケア児支援関係者会議を開催し、各機関の役割を共有するとともに今後の会議の方向性について確認を行った。主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の確保については引き続き周知をしていく必要がある。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
44	障害児相談支援		障害福祉課
事業内容			
障害児通所支援等を利用する方の心身の状況や環境等を勘案し、利用するサービスの内容等を定めた障害児支援利用計画を作成する。			
令和6年度目標			
量的	各年度の末月における月間の利用見込数 ※障害児福祉計画による。		
質的	障害児通所支援等のサービスが適切に提供されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	障害児相談支援：51人 令和2年度の末月における月間の利用人数 ※障害児福祉計画による。		
質的	個別のニーズをふまえた適切な達成目標が示されている。また、その目標を達成するために組み立てられた具体的な支援計画のもとにサービスが提供されている。		
令和2年度実績			
量的	障害児相談支援：57人 令和2年度の末月における月間の利用人数 ※障害児福祉計画による。		
質的	支援者と利用者が必要なニーズについて共有・目標を設定し、課題の解決に必要な計画のもとに支援が組み立てられ、サービスが提供された。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和2年度に障害児相談支援事業所が市内に2箇所開設された。一人ひとりに応じた障害児支援利用計画を作成できる環境を整備し、障害のある子どもが適切な支援を受けられるよう進めている。より多くの子どもが利用できるようにするため、事業所の整備を引き続き推進していく。
	a		
質的	評価	評価理由等	支援者と利用者が必要な課題及びその達成に必要な支援内容を共有し、段階を踏んだ目標のもとにサービスの利用が行われた。一人一人の個別性をふまえたサービス提供の実施に引き続き努めていく。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
	A		C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
45	児童発達支援センターの設置		子育て相談室
事業内容			
未就学児童の児童発達支援，18歳未満の障害のある児童や発達が遅れている児童とその家族を対象とした相談及び支援を行う。また，保育所等訪問支援を実施し専門的支援も行う地域の中核的な療育支援施設として整備する。			
令和6年度目標			
量的	1か所		
質的	地域の中核的な療育支援施設として整備されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	所管課及び関係部署による児童発達支援センター設置に関する会議を設ける。		
質的	児童発達支援センターの事業内容について取りまとめられ，必要な機能なども検討されている。		
令和2年度実績			
量的	所管課内での児童発達支援センター設置に向けた検討を行った。		
質的	児童発達支援センターの事業内容及び必要な機能についての検討を開始した。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	関係部署を含めた会議の開催に至らなかったため。
	C		
質的	評価	評価理由等	児童発達支援センターの事業内容及び必要な機能について内部で検討を実施したが，関係部署等を交えた検討及び結果の取りまとめに至らなかったため。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
	C		C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a， b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課	
46	義務教育就学児医療費助成事業	子ども子育てサービス課	
事業内容			
義務教育就学期にある児童の医療費の自己負担分を助成。ただし、通院1回につき200円の一部負担金あり。児童手当に準拠した所得制限あり。国や東京都へ制度の拡充を要請する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
質的	制度周知による申請漏れを防ぐことにより、義務教育就学児家庭の経済的な負担が軽減されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	目標は数値化しづらい。		
質的	制度周知による申請漏れを防ぐことにより、義務教育就学児家庭の経済的な負担が軽減されている。		
令和2年度実績			
量的	受給者数：6,757人		
質的	制度周知により申請漏れを防ぎ、義務教育就学児家庭の経済的な負担を軽減した。また、平成29年10月より小学1年から3年生の所得制限を撤廃し、より多くの対象者の経済的負担軽減を行った。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	平成29年10月より小学1年から3年生のいる世帯の所得制限を撤廃（市単独事業）した。また、より多くの対象者の経済的負担軽減を実施できたことから、量的充実を図ることができたため。
	b		
質的	評価	評価理由等	対象年齢人口の増減や所得分布等によるものではなく、制度拡大により多くの対象者の経済的負担軽減を実施し、制度周知（市報・チラシ）により、一定の目標達成を果たしたと考えられるため。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番47から通番49については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事業自体が実施できない期間があったことや、予定していたものの一部を中止としなければならない状況があった。

しかし、通番47では市民が安心して相談に来ることができるよう予約制としたこと、通番48では中止の期間には保健師が電話対応を行ったことや未受診者に対する受診勧奨等を行ったこと、通番49では中止となった際に電話相談等の個別対応を行ったことなど、それぞれの事業において、市民が利用しやすいよう、きめ細やかな対応や工夫が行われた。

通番50については、休日診療体制の確保に加え、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行の可能性を念頭におき、年末年始に利用可能な医療機関を増やす取組も行われた。

2 施策の方向性に係る実施状況

妊娠時期から育児不安の軽減を図ることができるよう、通番47では母子が身近な場所で専門職に各種相談（健康、母性、歯科及び栄養）ができる場を設け、通番49の両親学級わくわくクラスでは、妊婦の方を対象に専門職による各種講座等を実施した。また、疾病の早期発見・早期治療と親子の健康維持、障害の早期発見・療育につなげることができるよう、通番48において、子どもの成長・発達段階に応じて健康診査を実施し、妊娠期から子育て期にわたり、必要な方が適切な支援を受けることができるようにした。

食育については、栄養相談での情報提供（通番47）や、専門職による食生活や子育てに関する講習会・講座の提供（通番49）を通して、推進を図っている。

休日においても必要なときに医療機関を受診できるよう、通番50では、医療体制の提供を行うとともに、市報、市ホームページ及び東京都医療機関案内サービス（ひまわり）へ日曜・祝日に受診のできる医療機関の情報を掲載するほか、都立小児総合医療センターや、こどもの救急サイト、#7119救急相談センターに関する情報についても併せて掲載することにより、受診の目安や救急対応に関する情報についても活用できるようにしている。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により、通番47において量的目標の達成は困難となった（ただし、相談事業の利用を希望する市民全員が、専門職による相談を受けることができていく）。しかし、これ以外については、本施策で掲げている事業の量的・質的目標は「おおむね達成した」以上の水準となっており、また、全ての事業が方向性に基つき実施された。以上のことから、本施策の評価については、上記のとおりと判断した。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
47	乳幼児母性健康相談（保健センターミニ相談会含む）		健康推進課
事業内容			
乳幼児の発育・発達の観察，保護者の育児不安を軽減することによって，母子の健康保持・増進を図る。			
令和6年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
	身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができる。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
	新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら安心して身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができる。		
令和2年度実績			
量的	乳幼児母性健康相談：7回実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回中止)，来所者数194人(延べ) 保健センターミニ相談会：15回実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5回中止)，来所者数71人(延べ)		
	市民が安心して相談に来れるよう新型コロナウイルス感染症対策として予約制で実施した。また，電話での相談も可能とし，ニーズに応じた個別対応を実施した。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和2年度実績にあるように，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした回があるため。
	c		
質的	評価	評価理由等	令和2年度実績にあるように，新型コロナウイルス感染症対策として予約制にした。感染対策をしながら，育児不安を解消に向けた相談事業が実施できたため達成とする。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
48	乳幼児健康診査 (3～4箇月児健康診査・1歳6箇月児健康診査・3歳児健康診査)		健康推進課
事業内容			
乳幼児に対する健康診査など保護者の育児支援を実施し、乳幼児及び保護者の健康保持増進・育児支援・虐待予防・発育発達上の早期発見・早期支援を図る。			
令和6年度目標			
量的	健診受診率100%		
	病気・障害・要支援家庭の早期発見と育児中の保護者の育児不安軽減など虐待予防の視点をもって育児支援につなげる。		
質的	令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標		
	3～4カ月児健康診査受診率97.0%、1歳6カ月児健康診査受診率96.0%、3歳児健康診査受診率94.0%（すこやか親子21の中間評価目標値）		
質的	乳幼児健診を通じ、病気・障害・要支援家庭の早期発見を図り、保護者の育児不安に対し、相談支援を実施する。		
	令和2年度実績		
量的	乳幼児健診の集団健診は、3～4箇月児健診を27回、1歳6箇月児健診を23回、3歳児健診を22回実施。しかし、集団健診が新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年3月～6月中旬まで中止となり、再開されてからは受診人数を制限しながら実施したため、受診率が目標に達することができなかった。令和2年7月～8月まで3～4箇月児健診のみ償還払い制度で医療機関での受診が可能とし、令和2年9月～令和3年2月まで各健診を委託先の医療機関で受診できるよう対応。		
	各受診者数（集団・個別の受診者数合算）/受診率（乳幼児の数として） 3～4箇月児 920人/86%、1歳6箇月児 973人/84%、3歳児 856人/74%。（小数点第1位四捨五入）。		
質的	新型コロナウイルス感染症対策のため事業が中止となっていた間は、保健師が電話連絡にて、保護者・子どもの心身の状況等を確認し相談を受けた。また、事業が再開されてからは、必要な方が適切な支援につながるように、必要時関係機関との連携を積極的に実施。このほか、未受診者には再度電話連絡や手紙の送付、未受診アンケートで状況を把握し、連絡がつかない方・返信が無い方には保健師が訪問を実施し、受診案内・相談支援を行った。		
	令和2年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価	評価理由等	集団健診が新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年3月～6月中旬まで中止となり、再開されてからは受診人数を制限しながら実施したため、受診率が目標に達することができなかった。令和3年度も適切な時期に安心して乳幼児健診を受診できるように引き続き個別健診を選択できるように対応する。
	b		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策のため事業が中止となっていた間も、保健師による電話相談や、未受診者への受診勧奨や状況把握の確認等、必要時に適切な支援につながるよう対応を行った。今後も乳幼児健診で保護者・子どもの心身の状態を確認し、必要時に適切な相談先等の情報提供・関係機関との連携を行う。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
49	各種栄養関連事業（離乳食講習会・両親学級・食育講座）		健康推進課
事業内容			
各種栄養関連事業を食育事業に位置づけ、食育の推進を図る。			
令和6年度目標			
量的	離乳食講習会：年24回 両親学級わくわくクラス：年4回以上 食育講座：年3回以上 栄養講座：年3回以上		
質的	妊婦・乳幼児・保護者の健康の保持・増進を図る。参加者が今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけや方法を学ぶ。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	離乳食講習会：年24回 両親学級わくわくクラス：年4回以上 食育講座年3回以上 栄養講座年3回以上		
質的	ライフステージに応じて望ましい食生活を送るために、各種講座で知識の普及を図り、健康の保持・増進に努める。参加者が今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけや方法を学ぶ。		
令和2年度実績			
量的	離乳食講習会：年20回（新型コロナウイルス感染症対策のため各4回中止） 両親学級わくわくクラス：年4回 食育講座年1回（新型コロナウイルス感染症対策のため各2回中止） 栄養講座年4回（新型コロナウイルス感染症対策のため各1回中止）		
質的	新型コロナウイルス感染症対策のため講座時間を短縮し定員を減らすなど感染症対策を行いながら実施した。中止になった際は、電話相談や個別相談を行い知識の普及を図った。また、来所できない方については、事業で使用した資料を配布する等、個別対応を実施することにより、必要な方が、今後の食生活や子育てなどについて学ぶ機会を確保した。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策のため中止になった講座があり、目標回数に達することができなかったため。
	b		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策のため中止になった講座があったが、感染拡大防止に配慮し内容を工夫しながら、実施できた。また、中止になった際に、来所できなかった方へ対応することができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
50	休日診療・休日準夜診療事業		健康推進課
事業内容			
日曜・祝日・年末年始の昼間及び準夜に外来急病患者に対する診療を行う事業。医師会・歯科医師会に委託し、市内医療機関の輪番方式で実施する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
	必要としている市民が受診できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
	必要としている市民が受診できている。		
令和2年度実績			
量的	新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力のもと、市民が利用可能な休日診療体制を整えた。また、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行の可能性を念頭に、年末年始に対応可能な医療機関を増やし、体制の強化を行った。 休日診療受診者数 【医科】休日：1,004 準夜：72 / 【歯科】休日：263 準夜：52		
	休日の診療環境を提供することで、休日であっても医療等を受けることができ、市民が安心して生活することができる環境を確保した。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	量的実績値から、必要としている市民が必要な時に医療機関を受診できていると評価し、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成したと判断し、aとした。
	a		
質的	評価	評価理由等	休日の診療環境の提供により、市民が安心して生活できる環境を確保できていると判断し、aとした。小児科について、その専門性等も踏まえ、近隣にある都立小児総合医療センターに設置されている小児ERの情報提供等を引き続き行っていく必要がある。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

本施策に関する重点事業については、通番52を除き、量的・質的実績ともに目標を「おおむね達成している」以上の水準であった。

通番52は、障害への理解促進を図る事業であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響で、予定していた市主催イベントを中止せざるを得なかったものの、普及啓発グッズの配布や、啓発ポスター掲示を幅広く行った。

2 施策の方向性に係る実施状況

障害のある子ども、外国にルーツを持つ子ども等も含め、全ての子どもの権利が守られるよう、通番51では人権教育の全体計画・年間指導計画に基づいた取組の実施、通番52では「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の配布や啓発ポスターの配布、通番53では多様な性に関する職員研修・市民講座の実施を通して障害、異文化、多様な性等に理解を深めるよう努めた。また、多様な性に関する取組として、パートナーシップ制度を導入し、周知を行った。

いじめの防止については、通番56において、子どもが嫌な思いをしたという訴えに対して、細やかに、かつ、迅速に対応するよう努めるとともに、未然防止のため「弁護士によるいじめ予防授業」や「いじめ防止児童会・生徒会フォーラム」をはじめとした取組を継続して実施した。また、児童虐待の防止・予防対策については、通番55による事業のほか、育児負担の軽減を図るための事業（通番41）の実施や、保育所・幼稚園・小学校への巡回相談、児童民生委員・母子父子自立支援員・スクールソーシャルワーカーとの連絡会開催など、その充実に努めた。

体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が地域で広まるよう、通番54では「体罰によらない子育て」について、ホームページや市報などで普及啓発を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、いじめ虐待防止条例市民講演会を中止し、その代替として、市広報番組「ぶんぶんチャンネル」で、主な視聴対象を子どもとしてSOSの出し方などを伝える番組を放映した。

子どもの権利に関する取組については、上記方向性に基づき実施している各重点事業によるものだけでなく、そのほかの施策も含め総合的に推進し、様々な機会を活用し、幅広く市民へ啓発等の取組を進めている。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

通番52を除き、重点事業における量的・質的実績ともに目標を「おおむね達成した。」以上の水準であったこと、また、重点事業が施策の方向性に基づき実施されていることを確認したため、上記のとおりと判断した。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 児童虐待の未然防止・早期発見・深刻化防止には、児童が通う保育施設等の協力が必要であるが、その対応に当たっては、保育施設等と保護者の信頼関係や保育施設等で働く職員の安全性に最大限配慮することの必要性に鑑み、関係機関全体として、保育施設等から提供される情報の慎重な取扱いや児童を保護する場合の保護者への事前説明の実施等について、徹底されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- いじめの防止については、今後も学校側が認知したいじめの全てに対応していくことができるよう、各学校において実施している取組を継続するとともに、学校以外においても、子どもや保護者が発信するSOSを受け止める窓口を設けるなど、いじめの認知漏れ等が起きないような仕組みづくりについても検討されたい。
- 人権教育を行うに当たっては、通番51に掲げる取組を行うとともに、子どもの権利条約にいう「参加する権利」の実現のため、子どもに自分の意見が言えることや社会に参加することの重要性を伝えることを通して、社会的責任を自覚し、自立した子どもを育てていくことを大切にされたい。なお、このことは、国分寺市自治基本条例の趣旨にも通じるものである。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
51	学校全体での人権教育の取組の充実		学校指導課
事業内容			
人権について重点的に考える人権週間に合わせて、全市立小・中学校で、人権集会や人権標語づくり、人権メッセージや人権作文の発表会等の取組を充実するとともに、人権教育推進委員会作成のリーフレットを活用して、人権教育の指導の充実を図る事業			
令和６年度目標			
量的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
	人権教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施している。		
	人権教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和２年度実績			
量的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施した。		
	人権教育推進委員会において作成した指導資料を３月末に全校に配布し、周知した。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	全校が前年度の計画を見直し、全体計画や年間指導計画を改善した。また、これらの計画に基づき、各校の実態に応じた取組を進めることができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	人権教育推進委員会では、研究授業を通じた実践的な事例を基に、指導資料を作成し、３月末に全校に配布、周知した。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	A		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
52	障害への理解促進・普及啓発事業		障害福祉課
事業内容			
障害を理由とする差別の解消を推進するため、障害及び障害のある人に対する理解の促進を図り、普及啓発に努める。			
令和６年度目標			
量的	市主催の障害への理解促進に関する啓発活動を年12回実施している。		
	障害への理解促進、差別解消に関する講演会等や障害者週間行事を開催している。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	市主催の障害への理解促進に関する啓発活動を年12回実施している。		
	障害への理解促進、差別解消に関する取組として、障害者週間行事等を開催している。		
令和２年度実績			
量的	障害への理解促進に関する啓発活動を年６回実施した。 市主催のイベントがほぼ中止されたため、名義後援事業の参加者や市内小・中学校の児童生徒へも「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の普及啓発グッズの配付を行った。		
	新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者週間行事の講演会は中止したため、障害への理解促進のための啓発ポスター1,500枚を作成した。 啓発ポスターは市内公共施設のほか、西武鉄道・JRの駅や医療機関、町内会、特別支援学校等に掲示依頼し、幅広い市民に啓発活動を行った。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響により、市主催のイベントがほぼ中止されたため、目標が達成できなかった。 障害への理解促進事業は継続する必要があるため、イベント以外の啓発活動にも積極的に取り組んでいく必要がある。
	C		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響により講演会が行えなかったため、啓発ポスターを市内公共施設のほか、西武鉄道・JRの駅や医療機関、町内会、特別支援学校等に掲示依頼し、幅広い市民への啓発活動を行った。より幅広い市民への啓発のための手法を検討する必要がある。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	C		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名	所管課	
53	たがいの性や性の多様性を理解し、尊重するための学習機会の提供	人権平和課	
事業内容			
男女平等推進センターにおける講座等を通じて、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利)」及び性の多様性への理解促進を図る。			
令和6年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
質的	性の尊重や生殖に関する自己決定権について、定期的に情報を提供することや啓発する講座を開催している。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
質的	性の尊重や生殖に関する自己決定権について、定期的に情報を提供することや啓発する講座を開催している。		
令和2年度実績			
量的	パートナーシップ制度を導入した。保護者と子どもを対象としたリプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座、多様な性に関する職員研修及び市民講座を開催した。		
質的	パートナーシップ制度を導入した。また、同制度の導入について、国分寺マルイと連携し、店内にポスター等を掲示することができた。制度を周知することを通じ、性の多様性の尊重について考える機会を広く市民に提供することができた。講座・研修を3回開催し、アンケートでは講座・研修内容を高く評価されていることから、参加者にとって有益な講座となった。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	3回の講座・研修を実施することができたため。	
	a		
質的	評価	各講座・研修において、からだの性やこころの性、自身のからだを大切にすることを学ぶ機会を提供することができたため。また、パートナーシップ制度の導入及び周知を通じ、性の多様性について考える機会を提供できたため。	
	a		
結果	評価	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。 B: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。 C: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様	
	A		

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
54	児童虐待防止に関する啓発活動		子育て相談室
事業内容			
「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」に基づき、以下の事業を実施 ①市報・ホームページ掲載 ②講演会の実施 ③全小・中学校への訪問啓発 ④街頭での防止キャンペーンの実施			
令和６年度目標			
量的	①～④ 各１回／年実施		
	体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が広まっている。		
質的			
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	①～④ 各１回／年実施 新型コロナウイルス感染症対策が継続的に必要な場合、代替案も検討し、実施できている。		
	体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が広まっている。		
質的			
令和２年度実績			
量的	①～④は代替も含めて、各１回実施した。 ②は講演会の実施に替えて、市広報番組「ぶんぶんチャンネル」にて主に子どもの視聴を対象として番組を放映した。 ④はキャンペーンの実施に替えて、公民館で特設コーナーを設置して、児童虐待防止の普及啓発資料を掲示・配架した。		
	①～④の実施により、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響、体罰によらない子育てに関する理解などを広められるよう、普及啓発に努めた。		
質的			
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標としている４事業中、代替も含め、４事業全て実施したため。
	b		
質的	評価	評価理由等	①～④の実施により、関係機関や市民に体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに対する理解を広めるよう、普及啓発を図ったため。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	B		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
55	児童虐待に対する早期発見・深刻化防止		子育て相談室
事業内容			
児童虐待の未然防止・早期発見のため、保育施設・学校巡回、研修の実施により、養育環境に不安のある児童の共有、通告の必要性に対して、関係機関の理解を得る。また、関係機関の密な連携を図り、虐待の深刻化を防止する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
	庁内・庁外連携が図れており、児童虐待の未然防止・早期発見を行うことができ、虐待の深刻化を防止できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
	庁内・庁外連携が図れており、児童虐待の未然防止・早期発見を行うことができ、虐待の深刻化を防止できている。		
令和2年度実績			
量的	庁内・庁外連携件数 13,999件(訪問・面接・電話等)		
	保育施設・学校巡回、研修、また要保護児童対策地域協議会の各会議の実施により、庁内・庁外連携を密に行い、児童虐待の未然防止・早期発見や、虐待の深刻化防止に努めた。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	数値としての評価は難しいが、要保護・要支援児童の頻回な庁内・庁外連携、会議の実施などにより、虐待の深刻化防止に努めているため。
	b		
質的	評価	評価理由等	庁内・庁外との密な連携により、児童虐待の未然防止・早期発見や、虐待の深刻化防止に努めているため。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
56	いじめ防止に向けた取組の充実		学校指導課
事業内容			
児童・生徒が自分を大切にするとともに、他者を認め、いじめを許さない勇気を持ち、互いに思いやりをもちながら生活することができるよう、「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」に基づき、学校・家庭・地域が一体となっていじめ防止教育の充実に取り組む事業			
令和６年度目標			
量的 質的	学校は認知した全てのいじめについて、対応をしている。		
	学校は認知したいじめについて、早期に対応をしている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的 質的	学校は、認知した全てのいじめについて、対応をしている。		
	学校は認知したいじめについて、早期に対応をしている。		
令和２年度実績			
量的 質的	学校は、子どもが嫌な思いをしたと訴えた件について、全て聞き取りを行い、対応を図った。		
	年３回のいじめに関する調査で認知した件の大半は、学期末には、対応後、観察中となった。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価 a	評価理由等	アンケートや日常の相談等を通して、子どもが嫌な気持ちになったと訴えた件について、まずはいじめとして認知し、その１件１件について聞き取り、対応を図った。
	評価 b	評価理由等	年３回のいじめに関する調査において、認知したいじめについて、それぞれの学期末の状況を確認したが、対応が継続している件が数件あった。初期対応や組織的対応の課題が起因しており、再度、全校へ対応の徹底を指導していく必要がある。
結果	評価 B	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
			B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、通番57では全国学力・学習状況調査が中止され、通番64、通番65、通番67及び通番68では実施する事業を中止せざるを得ず、通番63については東京オリンピック・パラリンピック大会開催との兼ね合いから、実施しないこととした。そのため、量的若しくは質的又はその双方が、目標を下回る実績となった。通番60についても、新型コロナウイルス感染症の影響により新規相談者数が減少する結果となった。

しかし、通番60では事業の目的達成のため、リモート指導やプリント配付等による学習支援を実施した。また、通番64では、事業自体は開催できなかったものの、核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さの認識を深め、平和を作る意識を醸成するため、東京空襲資料展の開催期間中に、保護者と子どもを対象として、児童文学作品の朗読及び戦争体験講話を開催した。なお、通番69については、実施した事業の参加者満足度は非常に高い結果となっている。

このほかの重点事業については、通番61の量的実績を除き、量的・質的実績ともに目標を「おおむね達成した。」以上の水準となっている。

2 施策の方向性に係る実施状況

確かな学力を育むため、通番57では、第2次国分寺市教育ビジョンに基づき、児童・生徒が基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、主体的に学習を進めていくことができるよう、一人ひとりに応じた教育を進めている。

特別支援教育については、通番58では、支援を必要とする児童・生徒一人ひとりのニーズを正確に把握し、学校生活支援シートを作成・活用するとともに、長期的な視点で一貫して的確な教育的支援を行うために、進級に合わせて支援内容の引継ぎを行っている。また、通番59では、学級文庫用の本の貸出しを行うに当たって、特別支援学級の担任と連携し、貸出しを行う本が、配慮を必要とする児童・生徒のそれぞれの特性に合ったものとなるよう調査を行っている。

上記の取組を行うとともに、全ての子どもの学びの機会が保障されるよう、通番60では、休塾しなければならない期間中であっても、リモート指導やプリント配付等により学習支援を行った。また、通番61では、対象世帯にもれなく事業周知が行き届くよう、通番60の利用世帯にも事業の説明を積極的に行い、貸付利用希望者への支援を行った。

豊かな心を育むための事業については、**1**にも記載のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や他のイベントとの兼ね合いにより、事業自体を中止とせざるを得ないものがあつた。なお、コロナ禍であっても実施した事業については、例えば通番66では火を使った体験ができたり、通番67では「子ども農業体験講座」などの事業が実施されたりしており、様々な体験をすることができる機会が提供されていることから、方向性に基づき事業が実施されている。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

ただし、施策をより進めていくために、通番65及び通番68の評価理由欄に記載しているとおり、コロナ禍であっても実施できるよう事業の実施方法を検討していく必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番61の周知については、ホームページ及び市報による広報のほか、学校へのリーフレット及びポスターの配架に加え、各種手当等助成事業関係通知へ事業案内を同封する個別対応も実施されていることを確認した。今後も本事業がより利用されやすいものとなるよう、保護者会の場を活用するなど、全対象学年生徒への周知の機会の確保に努められたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
57	習熟度別指導の「基礎コース」の工夫改善		学校指導課
事業内容			
市立小・中学校で算数・数学を中心に実施している習熟度別指導において、基礎的・基本的学習内容について学ぶ「基礎コース」の児童・生徒には、既習学年にさかのぼり、未定着な部分を補充する学習を行う事業			
令和６年度目標			
量的 質的	全校が習熟度別指導の「基礎コース」を設定し、実態に応じた学習内容を計画している。		
	全国学力・学習状況調査の算数・数学の平均正答率が東京都平均を大幅に上回っている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的 質的	全校が習熟度別指導の「基礎コース」を設定し、実態に応じた学習内容を計画している。		
	全国学力・学習状況調査の算数・数学の平均正答率が東京都平均を上回っている。		
令和２年度実績			
量的 質的	全校が、算数・数学の習熟度別のコースを設定し、児童・生徒の実態に応じた授業を工夫して行っている。		
	新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、実績が測れなかった。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	学校では、算数・数学における「基礎コース」の児童・生徒に対して、既習事項を振り返ったり、未定着な部分を補充したりなど、児童・生徒の実態に応じた授業が工夫して行われた。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、実績としては「c」となるが、令和６年度目標達成に向け、引き続き、児童・生徒の実態に応じた指導方法の工夫に努めていく。
	c		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	B		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
58	学校生活支援シートの活用の推進		学校指導課
事業内容			
障害のある児童・生徒一人ひとりのニーズを正確に把握し、長期的な視点で一貫して的確な教育的支援を行うために、学校生活支援シートを作成し、児童・生徒の進級に合わせて引き継ぐ事業			
令和６年度目標			
量的	学校生活支援シートが必要な児童・生徒の内、作成されている割合が100%になっている。		
	学校生活支援シートを活用して、個別の課題に応じた支援が全校で実施されている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	学校生活支援シートが必要な全ての児童・生徒に作成されている。		
	学校生活支援シートを活用して、個別の課題に応じた支援が全校で実施されている。		
令和２年度実績			
量的	学校生活支援シートが必要な児童・生徒の内、98.1%に作成された。		
	学校生活支援シートには、個別の課題に応じた支援内容や方法が記載されており、「学校生活シートが必要な児童・生徒に作成し、活用している」という問いに、全ての学校が肯定的な回答をしていることから、個別の課題に応じた支援が全校で実施されたと捉えている。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	学校生活支援シートの作成については、教員だけでなく、保護者にもその意義等が広まってきたことにより、100%に近い作成率となってきた。今後も啓発をさらに進めていく必要がある。
	b		
質的	評価	評価理由等	学校生活支援シートを作成するだけでなく、日常の学校生活に生かしていくことが重要となるが、そのことに関する教員の意識も高まってきている。今後も、研修等を通して、さらに意識の向上を図っていく。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
			B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
59	子ども読書活動推進計画事業		図書館課
事業内容			
読書を通じた子どもの情緒や感情の育成, 子どもの成長に合わせた語彙力・読書力の向上, 読書による自己能力と自己解決力の向上を目指して子どもの読書環境の整備を図る。 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもへの支援として, 特別支援学級への学級文庫の定期設置やそのPR, 図書館内の読書環境の整備を行う。			
令和６年度目標			
量的	第二中学校, 第二小学校への実施		
	学校と連携を図り, 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもの読書環境の整備や支援が拡充されている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	第二中学校, 第二小学校への実施		
	学校と連携を図り, 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもの読書環境の整備や支援が拡充されている。		
令和２年度実績			
量的	第二中学校, 第二小学校への実施		
	第二中学校と第二小学校の特別支援学級の担任と連携をし, どのような本が配慮が必要な子どもの特性に合うかなどを聞き取りしたうえで, 学級文庫の設置を行った。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和６年度目標達成に向け, 第二中学校, 第二小学校への実施を行ったため。
	a		
質的	評価	評価理由等	各学校の特別支援学級の担任と連携を行い, 配慮が必要な児童・生徒の特性を調査したうえで学級文庫の設置を行うことができた。 今後も, 配慮が必要な児童・生徒の特性に合う本をさらに充実させるため, 継続して調査を行っていくことが必要となる。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和６年度の目標を達成した。又は, 令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
			B: 令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
60	生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）		生活福祉課
事業内容			
家庭の経済的な事情で学習塾に通えない、家庭教師がつけられない小学校3年生から中学校3年生を対象に、ボランティア講師による個別指導、交流行事や地域イベントへの参加を通じた学習支援・居場所づくりを行う。			
令和6年度目標			
量的	新規相談者数 55人 利用者数 44人		
	学習習慣が定着し、居場所ができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	新規相談者数 45人 利用者数 36人		
	学習習慣が定着し、居場所ができている。		
令和2年度実績			
量的	新規相談者数（世帯） 33人（31世帯） 利用者数 38人		
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、無料学習塾を休塾した期間がある。緊急事態宣言中はリモートによる学習支援を行った。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、休塾期間があったため、新規の相談が減少した。利用者に対しては、リモートによる指導やプリントの配付等による学習支援を行ったため、利用者数は目標を達成した。
	c		
質的	評価	評価理由等	量的評価にも記載したが、休塾期間でも利用者のニーズや状況に合わせた学習支援を行ったため学習習慣の定着と居場所の確保につながった。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
61	受験生チャレンジ支援貸付事業		生活福祉課
事業内容			
一定所得以下の世帯の子どもへの学習などの支援を目的とし、学習塾などの費用や、高校や大学などの受験費用について貸付けを行う事業。貸付対象である学校へ入学した場合、免除申請を行うことにより返済が免除（償還免除）される。			
令和６年度目標			
量的	相談件数：841件 貸付決定件数：84件		
	進学を希望する子どもが進学できている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	相談件数：841件 貸付決定件数：84件		
	進学を希望する子どもが進学できている。		
令和２年度実績			
量的	相談件数：485件 貸付決定件数：55件		
	進学を希望する子どもが進学できている。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	相談件数及び貸付決定件数ともに目標を下回ったため。
	c		
質的	評価	評価理由等	貸付を行った全ての子どもが進学できたため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	C		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
62	道徳教育に関する実践的研究や研修の充実		学校指導課
事業内容			
市立小・中学校における道徳教育の一層の推進を図るために、指導方法や指導内容の充実・改善に関する実践的研究や研修を実施する。			
令和６年度目標			
量的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
	道徳教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
	道徳教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和２年度実績			
量的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施した。		
	道徳教育推進委員会において作成した指導資料を３月末に全校に配布し、周知した。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	全校が前年度の計画を見直し、全体計画や年間指導計画を改善した。また、これらの計画に基づき、各校の実態に応じた取組を進めることができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	道徳教育推進委員会では、研究授業を通じた実践的な事例を基に、指導資料を作成し、３月末に全校に配布、周知した。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	A		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
63	ジュニアサマー野外活動交流会		スポーツ振興課
事業内容			
平成元年に国分寺市と旧真野町が姉妹都市の盟約を結んだことをきっかけとして、国分寺市の小・中学生が佐渡の自然や文化に触れる機会を創出することで、佐渡市との友好関係を次世代に引き継いでいくとともに、佐渡市の子どもたちと一緒にスポーツなどの活動を通して交流を深めることを目的とする。			
令和６年度目標			
量的	国分寺市参加者数：30人		
	佐渡市の子どもたちとの交流が図られている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	東京2020オリンピックパラリンピック大会が予定されており、時期が重なるため、実施しないこととした。		
	佐渡市の子どもたちとの交流が図られている。		
令和２年度実績			
量的	東京2020オリンピックパラリンピック大会は延期されたが、実施しなかった。		
	交流を図れなかった。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	上記のとおり未実施となったため。
	C		
質的	評価	評価理由等	交流を深められなかったため。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	C		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
64	小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）		人権平和課
事業内容			
次世代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し，平和記念式典への参加や被爆体験者の講話の聴講，原爆関連施設等を見学することを通じて，核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについての認識を深め，平和をつくる意識を醸成する。			
令和6年度目標			
量的	年1回実施		
	児童・生徒が被爆地で様々な体験をすることにより，核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	年1回実施		
	児童・生徒が被爆地で様々な体験をすることにより，核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めている。		
令和2年度実績			
量的	新型コロナウイルス感染症の影響により，小・中学生広島派遣は中止となった。		
	新型コロナウイルス感染症の影響により，小・中学生広島派遣は中止となったため，被爆地で様々な体験をすることはできなかったが，平和祈念式，東京空襲資料展及び戦争体験講話には子どもの参加もあり，核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めることができた。		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	小・中学生広島派遣が中止となったため。
	C		
質的	評価	評価理由等	小・中学生広島派遣が中止となったことから，被爆地で様々な体験を行うことができなかったため。なお，平和祈念式，東京空襲資料展及び戦争体験講話は予定どおり開催した。子どもの参加もあり，核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めることができた。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
65	史跡駅伝事業		スポーツ振興課
事業内容			
歴史や自然等，国分寺で魅力あふれる史跡武蔵国分寺跡周辺で，市内小・中学生による駅伝を実施する。			
令和６年度目標			
量的	小学生40組 中学生40組		
質的	歴史や自然を生かしたスポーツイベントを開催するとともに，小・中学生の体力・競技力の向上が図られている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	小学生40組 中学生40組		
質的	歴史や自然を生かしたスポーツイベントを開催するとともに，小・中学生の体力・競技力の向上が図られている。		
令和２年度実績			
量的	小学生０組 中学生０組		
質的	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため，未開催となり，小・中学生の体力・競技力の向上を図れなかった。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	国分寺市新型コロナウイルス感染症対策本部会議にてイベント中止の判断がされ，未開催となった。 コロナ禍での開催方法を検討する必要がある。
	C		
質的	評価	評価理由等	国分寺市新型コロナウイルス感染症対策本部会議にてイベント中止の判断がされ，未開催となった。したがって，本事業を通じた小・中学生の体力・競技力の向上は図れなかった。 コロナ禍での開催方法を検討する必要がある。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は，令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	C		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
66	国分寺市プレイステーション事業		子ども子育て事業課
事業内容			
青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場として、国分寺市プレイステーションを運営する。			
令和６年度目標			
量的	年間来場者数：15,000人		
	青少年が自然や野外での遊びを体験できる場を提供できている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	年間来場者数：11,000人		
	青少年が野外での遊びを体験できる場を提供できている。		
令和２年度実績			
量的	年間来場者数：18,984人		
	新型コロナウイルスの影響により、臨時休園等利用できない期間はあったが、青少年が野外での遊びを体験できる場を提供できた。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和２年度目標である年間来場者数11,000人を上回ったため。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルスの影響により遊びや活動の内容に一定の制限があったものの、アンケートによる利用者満足度は高く、令和２年度の目標は達成したものと評価した。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	A		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和2年度）

通番	事業名		所管課
67	子ども対象事業		公民館課
事業内容			
子どもたちの豊かな心を育むために、芸術、文化、科学、スポーツなどあらゆる分野の学びの機会を提供する。			
令和6年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で25事業以上の子ども対象事業を実施。		
	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和2年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で10事業以上の子ども対象事業を実施。		
	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和2年度実績			
量的	企画事業数：14 実施事業数：7		
	平均満足度96.1%		
令和2年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	「新型コロナウイルス感染症」により施設自体が休館になったり、事業の中止や延期をしなければならなくなり、実施事業数が限られたが、そうした状況下において、工夫をして可能な限り事業の実施を行った。 感染症対策を行いながらなるべく多くの子どもたちに学びの機会を提供するための方法を今後検討していく必要がある。
	c		
質的	評価	評価理由等	実施した事業については、参加者から高い満足度が得られた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和2年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和2年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和2年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
68	児童館での学生等の職場体験・実習受入事業		子ども子育て事業課
事業内容			
地域に開かれた児童館として、中・高校生世代，大学生等を対象とした職場体験及び実習の受入れを行う。			
令和６年度目標			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計60人		
	児童館の仕事を幅広く体験できるような体験・実習の活動内容となっており，参加者にとって貴重な学びの機会となっている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計12人		
	児童館の仕事を幅広く体験できるような体験・実習の活動内容となっており，参加者にとって貴重な学びの機会となっている。		
令和２年度実績			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計0人（感染症対策のため受け入れを中止した。）		
	新型コロナウイルス感染症の影響で，職場体験及び実習生の受入を中止。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	感染症対策として職場体験や実習生の受入を中止した。今後は適切な感染症対策をした上での受入体制を整えていく。
	C		
質的	評価	評価理由等	感染症対策として職場体験や実習生の受入を中止した。今後は適切な感染症対策をした上での受入体制を整えていく。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は，令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	C		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番69では、重点事業評価シートに記載のとおり、コロナ禍であっても必要な人が相談を受けることができるよう、支援者同士の連携充実に資するよう、実施方法を工夫しながら、目標のとおり会議や研修を実施した。また、通番70では、令和2年度の通室人数は令和元年度のものに比べると減少したものの、質的実績の評価理由欄に記載のとおり、通室した児童・生徒に好転傾向が見られ、中学3年生については、卒業までに通室した全員が進路を決定することができている。

2 施策の方向性に係る実施状況

若年無業者（ニート）やひきこもりなどで悩む若者や家族に対して実施する支援は、高い専門性を有する支援機関（支援者を含む。以下同じ。）との連携が必要であることから、通番69では、研修の実施や若者支援地域ネットワーク会議を活用した情報共有をとおして、支援機関同士の連携の充実に努めた。

自立に困難を有する若者やその家族が、必要なときにサービスを利用することができるよう、市の相談窓口を周知した。また、若者を取り巻く社会状況や効率的な接し方・伝え方を学ぶために実施している家族セミナーでは、支援機関を利用することの重要性と地域の身近なサービスを案内していることから、同セミナーを受講してもらえるよう、各種媒体で周知を行った。

加えて、若者をとりまく現状や自立に困難を有することに対する偏見等をなくすため、本市公民館課とともに元ひきこもり当事者を講師とした市民向け講座を実施した。

悩みを持った児童・生徒・保護者が相談しやすい体制や環境を整えるため、担任だけで抱え込むことのないような組織的相談体制の構築に努めた。また、全校に配置しているスクールカウンセラーが、専門的な見地から相談活動を行った。

不登校児童・生徒に対する取組としては、通番70の質的実績に記載のとおり、一人ひとりの児童・生徒に寄り添った対応に努めた。また、トライルールの通室者数が増加していることを踏まえ、本多公民館に「トライルームほんだ」を新設し、週2日の試行的運用を開始した。

通番70にとどまらず、学校教育においては、新学習指導要領に基づき、キャリア教育（一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育）を充実させるため、市内小・中学校の全校でキャリアパスポートの作成に取り組んだ。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

本施策の重点事業については、ともに量的実績は目標を下回ったが、質的実績と施策の方向性に係る実施状況から、評価はこのとおりとした。

なお、通番69で実施した講座は、若者支援地域ネットワーク会議を構成する機関のひとつに本市公民館課があることから実現したものであり、若者支援地域ネットワーク会議による支援機関の連携の結果であると考えられる。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番70については、学校に登校できない子どもに対して、外出や学習の機会等が提供されているとても大切な事業である。今後も一人ひとりの通室目的に合った支援を継続していくとともに、特に学びを求める子どもにとっては、自習を中心とした学習支援にとどまらない援助も必要であると考えられることから、学習の機会の提供については、更なる充実を図られたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
69	若者支援事業		子ども若者計画課
事業内容			
<p>社会生活を円滑に営む上で困難を抱える若者について自立に向けた支援を行うため、庁内関係課と各種専門的な支援を行う機関や地域で活動する団体で構成する国分寺市若者支援地域ネットワークで連携し、包括的支援を継続的に行う。当事者とともにその家族への支援を行うため、相談会等を実施する。地域の各種機関によるネットワークの強化を図り、関係機関の連携を更に推進するとともに、地域で支えるしくみを構築する。</p>			
令和６年度目標			
量的	相談窓口利用件数：30件 個別相談会及び研修会実施回数：3回		
	地域に暮らす全ての人が、当事者を正しく理解し支えることができるよう、講演会など理解を深める取組が実施されている。		
質的			
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	相談窓口利用件数：25件 個別相談会１回・研修会１回：計２回実施		
	令和６年度目標達成に向け、支援者で構成される若者支援ネットワーク会議を開催し、連携を充実させる（庁内連携会議２回、実務者会議４回）。		
質的			
令和２年度実績			
量的	相談窓口利用件数：14件 個別相談会１回・研修会１回：計２回実施 ※家族セミナー実施（オンライン）後に希望者に対して行う個別相談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、希望者個々と日程調整を行い、別途実施した。		
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、対面による会議の実施が困難となったが、連携体制を維持・充実させるため、会議を継続して実施し、情報の共有に努めた（庁内連携会議２回（書面）、実務者会議４回（対面：１回、書面３回））。なお、研修会については、４市合同（立川市、日野市、国分寺市、国立市）形式としたことで、国分寺市の支援者が他市の取組を知ることができ、地域を超えて情報を共有する機会となった。		
質的			
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大している中であっても、必要な人が個別相談をすることができるよう、希望者個々と日程調整を行い、実施した。 また、研修会については、初めて４市合同形式で実施した。 なお、窓口相談利用件数が、目標値を下回ったため、量的な実績の評価は左記のとおりと判断した。</p>
	c		
質的	評価	評価理由等	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大している中であっても、支援者同士の連携体制の維持・充実が必要であることから、会議を継続して実施した。また、４市合同形式で実施した研修会は、他市の取組等に触れる機会となったことから、今後支援者同士の連携を充実させていく上で重要なものとなった。 なお、会議については、そのほとんどを書面開催とせざるを得ず、全てが文字どおり顔の見える形式ではなかったことから、左記のとおり評価した。</p>
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	B		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和２年度）

通番	事業名		所管課
70	不登校児童・生徒への支援の充実		学校指導課
事業内容			
不登校問題に対応するために、適応指導教室（トライルーム）において、体験活動等を通して、児童・生徒一人ひとりと向き合い、学校復帰と社会的自立を目指す指導を実施する事業			
令和６年度目標			
量的	不登校の状況にある児童・生徒の通室数をできる限り増やす。		
	不登校児童・生徒が支援により学校復帰することができている。		
令和６年度目標達成に向けた令和２年度目標			
量的	不登校の状況にある児童・生徒の中で、トライルームに通室する人数が増えている。		
	不登校児童・生徒の状況が、好転傾向に改善されるよう、継続的な支援を行っている。		
令和２年度実績			
量的	令和元年度と比較し、小学校・中学校ともにトライルーム通室の人数は減少した。		
	トライルームでは、在籍学校の担任等とも連携をしながら、一人ひとりの児童・生徒に寄り添った対応に努めてきた。多くの児童・生徒に好転傾向が見られている。		
令和２年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和元年度と比較し、小学校・中学校ともに通室の人数は減少した。令和２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う長期の臨時休校や分散登校など特別な対応があったことや感染リスクにより外出への不安がさらに高まったことなどが影響しているのではないかと分析している。
	c		
質的	評価	評価理由等	トライルームでは、多くの児童・生徒に好転傾向が見られており、特に、中学校３年生は、卒業までに全員が進路を決定することができた。今後も一人ひとりの状況に応じ、丁寧な支援を継続していく。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和２年度目標を達成した。
	B		B：令和６年度目標に向けた令和２年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和２年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様





子ども・子育て支援事業計画
評価書
(計画第5章評価部分)

1

幼稚園，保育所，認定こども園，地域型保育事業等

計画的に認可保育所の整備が行われ，定員拡充が図られていることから，令和3年度の整備が計画通り進めば，令和4年4月をもって待機児童の解消が見込まれている。一方で，年度途中に入所を希望しても，入所できない児童がいる実態がある。このことから，希望する児童が年度を通して認可保育所へ入所できるよう，保育の質を落とさぬことを前提としつつ，その必要量及び確保量を慎重に見込まれたい。

2

地域子ども・子育て支援事業

「放課後児童健全育成事業（学童保育所）」については，依然として，公立学童保育所の狭隘状況が続いており，その解消を図るために，学童保育所の整備が進められているところであるが，量の確保に合わせて，学童保育所における保育の質の維持，向上を図ることも重要である。公立学童保育所には，指定管理者制度により選定された事業者によって運営されている施設があるが，質の高い保育を実施できる運営法人を選定するため，選定段階において，保育現場を確認する等これまで実施してこなかった方法等も検討し取り組まれたい。

「一時預かり事業」については，計画を大幅に超える量の見込みに対して，確保できた実績となっており評価できる。

3 教育・保育の一体的提供及び推進等に関する事項

「教育・保育と小学校教育の円滑な接続の在り方」については、基幹型保育所システム事業での取組が報告され、コロナ禍においても事業を実施するために工夫されたその内容は評価できる。今後も、教育・保育施設と小学校が連携し、子どもの発達や学びの連続性を確保するため、事業を広く実施されたい。

「子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保」については、保護者の経済的負担の軽減や利便性等の視点から対応されているが、施設の運営法人に対しての負担軽減等についても工夫されたい。

4 その他の取組

「産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保の推進」については、産後休業及び育児休業後の保護者が希望した場合は、年度途中であっても、その子どもが教育・保育施設等へ入所できるよう、確保量を適切に見込まれたい。

「保育士等の確保・定着」については、処遇改善等加算の交付や宿舍借り上げ支援事業等の実施、また、保育所等の入所選考に際して、市内の保護者が保育施設に保育士として従事している又は従事予定である場合には、「保育の実施基準指数」の「調整指数」で一定の点数を加点する取組について評価できる。引き続き、国や東京都の制度や動向を勘案し、保育士等の確保及び定着につながるよう取組を実施されたい。





子ども・子育て支援事業計画
実績値等
(計画第5章評価部分)

幼稚園，保育所，認定こども園，地域型保育事業等

計画						
	1号認定	2号認定	3号認定			
			2歳	1歳	0歳	
児童数（推計）	3,238		1,029	1,021	1,010	
量の見込み（A）	1,476	1,762	592	578	311	
確保方策						
特定教育・保育施設	幼稚園 保育所 認定こども園	92	1,775	554	486	278
未移行幼稚園	上記以外の幼稚園	1,384	-	-	-	-
特定地域型保育事業	小規模保育， 家庭的保育， 居宅訪問型保育， 事業所内保育等	-	-	8	8	4
企業主導型保育施設の地域枠		-	0	8	8	3
認可外保育施設	認証保育所など 上記以外の施設	-	54	38	28	15
確保方策合計（B）		1,476	1,829	608	530	300
過不足（C） = （B） - （A）		0	67	16	▲48	▲11
3号認定保育利用率（%） （D） = （B） / 児童数（推計）		-	-	59.0	51.9	29.7
当該年度までに新たに確保する量						
特定保育施設（E）		0	156	48	48	24
確保後の過不足（C） + （E）		0	223	64	0	13

実績						
	1号認定	2号認定	3号認定			
			2歳	1歳	0歳	
児童数	3,275		1,050	1,031	953	
量の見込み（A）	1,520	1,660	636	637	340	
確保方策						
特定教育・保育施設	幼稚園 保育所 認定こども園	114	1,798	563	489	281
未移行幼稚園	上記以外の幼稚園	1,406	-	-	-	-
特定地域型保育事業	小規模保育， 家庭的保育， 居宅訪問型保育， 事業所内保育等	-	-	8	8	4
企業主導型保育施設の地域枠		-	0	8	8	3
認可外保育施設	認証保育所など 上記以外の施設	-	42	39	37	17
確保方策合計（B）		1,520	1,840	618	542	305
過不足（C） = （B） - （A）		0	180	▲18	▲95	▲35
3号認定保育利用率（%） （D） = （B） / 児童数		-	-	58.8	52.5	32.0
当該年度までに新たに確保する量						
特定保育施設（E）		0	168	52	44	24
確保後の過不足（C） + （E）		0	348	34	▲51	▲11

(1) 利用者支援事業

《基本型・特定型》 【か所数】

	計画	実績
量の見込み (A)	5	5
基本型	4	4
特定型	1	1
確保方策 (B)	4	4
基本型	3	3
特定型	1	1
差引 (B) - (A)	▲1	▲1

《母子保健型》 【か所数】

	計画	実績
量の見込み (A)	1	1
母子保健型	1	1
確保方策 (B)	1	1
母子保健型	1	1
差引 (B) - (A)	0	0

(2) 時間外保育事業

【人】

	計画	実績
量の見込み (A)	751	457
確保方策 (B)	3,093	3,095
差引 (B) - (A)	2,342	2,638

(3) 放課後児童健全育成事業 (学童保育所)

【人】

	計画	実績
量の見込み (A)	1,447	1,384
低学年	1,263	1,363
高学年	184	21
確保方策 (B)	1,097	1,149
低学年	1,079	1,117
高学年	18	32
過不足 (C) = (B) - (A)	▲350	▲235
低学年	▲184	▲246
高学年	▲166	11
当該年度までに新たに確保する量 (D)	200	208
低学年	196	204
高学年	4	4
確保後の過不足 (C) + (D)	▲150	▲27
低学年	12	▲42
高学年	▲162	15

(4) 放課後子どもプラン（放課後子供教室）

【延べ利用人数（人日）】

	計画	実績
量の見込み（A）	81,950	32,186
確保方策（B）	81,950	32,186
差引（B） - （A）	0	0

(5) 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

【延べ利用人数（人日）】

	計画	実績
量の見込み（A）	41	26
確保方策（B）	362	359
差引（B） - （A）	321	333

(6) 乳児家庭全戸訪問事業

【延べ訪問人数】

	計画	実績
量の見込み（A）	1,192	878
確保方策（B）	1,192	878
差引（B） - （A）	0	0

(7) 養育支援訪問事業

【延べ訪問世帯数】

	計画	実績
量の見込み（A）	112	112
確保方策（B）	112	112
差引（B） - （A）	0	0

(8) 地域子育て支援拠点事業

【延べ利用人数】

	計画	実績
量の見込み（A）	56,414	26,553
確保方策（B）	52,303	44,812
実施か所数	8 か所	8 か所
差引（B） - （A）	▲ 4,111	18,259

(9) 一時預かり事業

【延べ利用人数（人日）】

		計画	実績
量の見込み (A)		28,219	49,021
幼稚園型	1号認定による利用	8,075	33,630
	2号認定による利用	5,397	13,074
幼稚園型以外		14,747	2,317
確保方策 (B)		20,272	49,021
幼稚園型	1号認定による利用	8,075	33,630
	2号認定による利用	5,397	13,074
幼稚園型以外		6,800	2,317
確保方策 (B) - (A)		▲ 7,947	0
幼稚園型	1号認定による利用	0	0
	2号認定による利用	0	0
幼稚園型以外		▲ 7,947	0

(10) 病児保育事業（病児・病後児保育事業）

【延べ利用人数（人日）】

	計画	実績
量の見込み (A)	1,772	150
確保方策 (B)	4,720	4,720
差引 (B) - (A)	2,948	4,570

(11) ファミリー・サポート・センター事業

【延べ利用人数（人日）】

	計画	実績
量の見込み (A)	5,878	3,328
確保方策 (B)	5,878	3,328
差引 (B) - (A)	0	0

(12) 妊婦健康診査事業

【（人）】

	計画	実績
量の見込み (A)	1,021	921
確保方策 (B)	1,021	921
差引 (B) - (A)	0	0

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

市内に新規に設置された保育施設が円滑に運営できるよう、基幹型保育所の保育士が相談・助言等を行っている。

令和2年度は新規設置された4施設に対し、相談・助言等を実施した。

(14) 実費徴収に係る補足給付を行う事業（副食費）

【延べ対象者数】

実費徴収に係る補足給付を行う事業（日用品・文房具等）		人
実費徴収に係る補足給付を行う事業（副食費）	126	人

(1) 認定こども園の普及に係る考え方

既存の幼稚園においては、新制度への移行と認定こども園化の意向が見られないため、実績として市内の設置に至っていない。また、当市の待機児童の解消に係る方針としては、保育所の整備を第一義的に進めてきたこともあり、認定こども園の設置については現状予定していない。

(2) 教育・保育と小学校教育の円滑な接続の在り方について

卒園を迎える年度の児童に対し、就学への期待を高めるため基幹型保育所システム事業の一環として、学校訪問事業を計画した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、訪問は中止となったが、代替事業として2校分の学校紹介動画の鑑賞を行った。

(3) 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保

施設等利用給付教育時間部分について、公正かつ適正な支給を確保し、年度内に処理を終えた。保護者の利便性を勘案しつつ、法定代理受領及び償還払いの給付方法について、施設及び保護者に手続き方法を周知した。また、特定子ども・子育て支援施設等については、東京都や関係市区町村との間で適切に情報共有を行い、連携を図りながら実施した。

(1) 教育・保育の質の維持・向上等に係る取組の推進

基幹型保育所システム事業を通じて、提供する保育の質の維持・向上を図るため、市内保育施設職員を対象とした5回の研修事業、2回の職種別連絡会（栄養士連絡会・看護師連絡会）を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、集会研修を中止とした場合は、映像研修・資料研修等に切り替えて対応した。また、サービスの質の向上等を目的とする福祉サービス第三者評価を受審した市内保育施設に対して加算等を行った。

(2) 産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保の推進

保護者の産休・育休明けの希望に応じて、円滑に教育・保育施設、地域型保育事業を利用できるよう、施設サービスの情報提供を行った。また、市が申込窓口となる保育施設・地域型保育事業については、空き状況を把握し、見学の際のポイントなども情報提供を実施した。

(3) 子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する東京都との連携

児童虐待防止対策の充実については、例年、児童虐待防止普及啓発として、児童相談所・警察などと連携し、チラシやグッズなどを駅頭などで配布していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、令和2年度は、市内各公民館にて東京都や市の事業をポスター・グッズなどで紹介し対応した。

障害児施策の充実等については、障害児支援として、就学支援シートを活用し、児童の状況や支援内容を関係機関と共有することで、切れ目のない支援に向けた取組を行った。また、発達障害や療育に関する知識の向上を目的として、関係機関を対象とした研修及びこどもの発達センターつくしんぼの通園事業見学会を実施した。東京都の障害児施策と連携を取りつつ、主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所の開設や国分寺市医療的ケア児支援関係者会議の設置など、障害児相談支援及び障害児通所支援体制の整備に努めた。また、障害者地域自立支援協議会の相談支援部会に設置している障害児通所支援事業所連絡会において、他分野との連携を協議するなど、障害特性に応じた適切な支援の推進に向け、各事業所と連携を図った。

(4) 労働者の職業生活と家庭生活との両立に必要な雇用環境整備施策との連携

令和元年度の子育て支援講座に続き、令和2年度は保護者と子どもを対象とした家事・子育て講座を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、定員を削減しての開催となったが、アンケートでは講座内容を高く評価されており、参加者にとって有益な講座となった。

(5) 要保護児童対策地域協議会実施による関係機関連携の強化

要保護児童対策地域協議会による関係機関連携について、年1回開催する代表者会議・実務者会議の定例会は書面開催となったが、要保護児童の現状や対応状況について情報共有した。また、実務者会議進行管理部会を年4回開催し、要保護児童の進行管理を実施した。個別のケースの検討については、個別ケース検討会議を年56回実施し、関係機関と密な連携を図った。

(6) 保育士等の確保・定着

保育士等の確保及び定着につながる取組としては、市内認可保育所の全施設に対し、保育士等の処遇改善を図る処遇改善等加算の補助を行い、市内で保育施設を運営する法人が、雇用する保育士等向けに宿舍を借り上げた場合に、その経費の一部を補助する宿舍借上支援事業を行った（令和2年度実績：36園，158戸）。加えて、保育所等の入所選考に際して、保護者が「保育士・幼稚園教諭・保育教諭の免許を有するものであって、市内の保育所等又は市内の認証保育所及び都知事に届け出している認可外保育施設において保育に従事している、又は従事することが決まっている者が入所（転所を除く。）の申込みをする場合」に該当した場合は、「保育の実施基準指数表」の「調整指数」において、6点の加点を行う取組も実施した。



